# １章　職場モビリティ・マネジメント（ノルデ運動）

## １－１　職場モビリティ・マネジメントの概要

### （1）目的

南部地域で開始する実証運行に合わせて、過度なマイカー依存から公共交通等のバス利用を呼び掛けるモビリティ・マネジメントを市役所職員・市内事業所職員を対象に実施する。具体的には動機付けちらしによりノーマイカー通勤を呼び掛けると共に、路線バス利用者に対しては、路線バス運賃を特別運賃とする施策も併せて実施する（ノルデ運動）。また、取組後のアンケート調査も実施することで、今後の他事業所への呼びかけやノーマイカー通勤の提案などにつながるものとする。

### （2）対象

○鳥取・鳥取県　職員

○市内事業所等（商工会議所を経由）

### （3）取組内容

**Step1：動機付け**

**① ノルデ運動**

期間中、ノーマイカー通勤（ノルデ運動）の参加者には「参加証」を配布する。また、参加表明者で通勤時に路線バスを利用する者に対しては、期間中特別運賃とする。

**② 動機付けちらし**

過度なマイカー依存から公共交通等の利用を促すため、鳥取市のバス利用・財政負担状況やノーマイカー通勤のメリット等をまとめた動機づけちらしを作成する。

**③ コミュニケーション・アンケート（CA）**

動機付けちらしを読みながら回答する設問や、実際に自身の公共交通利用計画を立てるような設問を加えたアンケート調査を実施し、動機付けちらしの効果を高める。

**Step2：フィードバック**

**④ フィードバックちらし**

①～③による効果や②ＣＡによる効果をまとめたちらしを提示する。（市役所職員のみ）

**⑤ 取組後のアンケート調査**

今後のノーマイカー通勤を進める上での施策につなげるため、取組後のアンケート調査を実施する。

## １－２　ノルデ運動

### （1）実施主体・協賛団体

○実施主体：鳥取市生活交通会議、鳥取市　（共催）鳥取県

【事務局】鳥取市（都市整備部交通政策室）

○協賛団体等：鳥取商工会議所、鳥取市(東・西・南)商工会、民間企業

### （2）実施区域

鳥取市内全域

### （3）実施期間

①　平成２４年１０月２２日（月）　～　１０月２６日（金）

②　平成２４年１１月２６日（月）　～　１１月３０日（金）

### （4）内容

①ノルデ運動（ノーマイカー通勤）参加証

　ノルデ運動参加の意志を表明した者に対しては、ノルデ運動参加証を配布する。参加登録者は期間中の実際の取組日数や交通手段などの実績を報告する。

②路線バスの参加者特別運賃

　ノルデ運動参加登録者は通勤経路内の路線バス運賃を特別運賃（片道上限 200 円）とする。南部地域においては、幹線便を 200 円、支線便を 100 円とする。

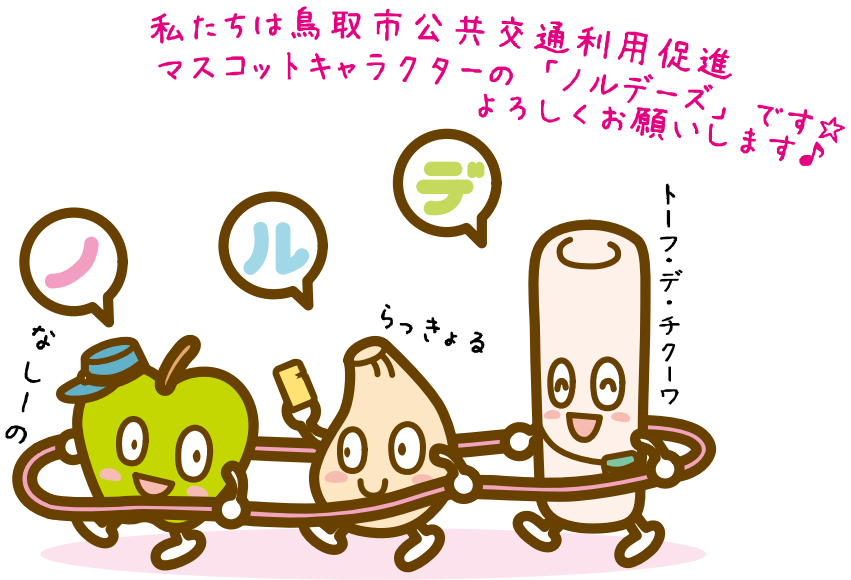
### （5）その他

参加事業所は、鳥取市ホームページで公表する。

## 1－3　ノルデ運動キャラクターの募集

ノルデ運動（鳥取市公共交通利用促進運動）に関して、運動や公共交通そのものに市民により愛着をもってもらうことを目的に、ノルデ運動の PR キャラクターの募集を行った。

| | |
|---|---|
| 募集期間 | 平成 24 年 5 月 11 日～6 月 15 日 |
| 応募総数 | 37 点 |
| 最優秀作 | 「ノルデーズ」　（なしーの　らっきょる　トーフ･デ･チクーワ）<br>水口香里（みずぐち かおり）様　：32 歳　：鳥取市 |
| 優秀作 | 「イクデ車掌」<br>下田恵美（しもだ めぐみ）様　：26 歳　：八頭町 |
| | 「ノルデンデンくん」<br>岡本豊子（おかもと とよこ）様　：34 歳　：鳥取市 |
| | 「ノルデ三姉妹「ノリ」「リン」「サイ」」<br>西村嘉野（にしむら よしの）様　：25 歳　：鳥取市 |
| 特別賞 | 「ノルえもん」<br>熊沢　環（くまざわ たまき）様　：5 歳　：岩美町 |
| | 「ローカルゴ」<br>谷口舞依（たにぐち まい）様　：8 歳　：鳥取市 |
| | 「乗る丸くんと輪姫ちゃん」<br>河上　琳（かわかみ りん）様　：13 歳　：鳥取市 |
| | 「ノルデくん」<br>鈴木英里奈（すずき えりな）様　：22 歳　：鳥取市 |
| 表彰 | ○最優秀　（賞状、記念品（くる梨特別期間(1 年間)乗車券・図書券 1 万円分））<br>○優　秀　（記念品（くる梨特別期間(半年分)乗車券・バスコレクション））<br>○特別賞　（記念品（バスコレクション）） |




最優秀作：鳥取市ノルデ運動キャラクター

## １−４　動機付けちらし

動機付けちらしを次頁に示す。市役所職員に対しては、CA と併せてメールにより配信した。市内事業所等に対しては、商工会議所を経由して紙面での配布を行っている。

みんなで守ろう！！

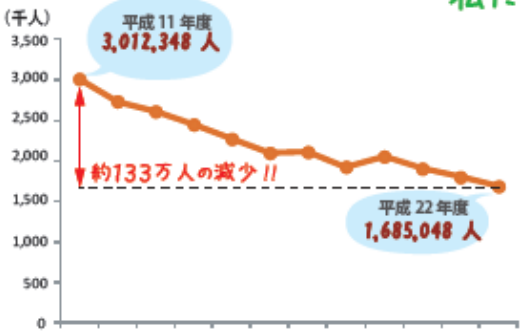
# 鳥取市の公共交通

かしこく使って
お得に実践♪

私たちは鳥取市公共交通利用促進
マスコットキャラクターの「ノルデーズ」です☆
よろしくお願いします♪

一人一人のちょっとした心がけで、 自分も地域も地球もハッピーになります。 家族のこと、 将来の自分のことを考えて、 市民のみなさんでかしこくクルマ利用をしてみませんか？

## 地域の生活や地球環境を守るため、そして健康のために私たちに何ができるでしょうか..




▲一般路線バス利用者数の推移（日ノ丸自動車(株)）

地域内を運行する市内のバスは、 利用者が年々少なくなっています。これに合わせて、 路線バスを維持するための市が負担する補助金も増え、 平成23年度には約**2億1,600万円**に!!一方これからクルマの運転が難しい高齢者もどんどん増えていきます。 **誰もがいつかは高齢者**です。
私たちに何ができるでしょうか..

## 山陰では「クルマ通勤じゃないとムリ・・・?」

通勤時間帯にも市の中心部では慢性的に渋滞が発生 公共交通の利用も減っている上、 多くの$CO_2$を排出しています

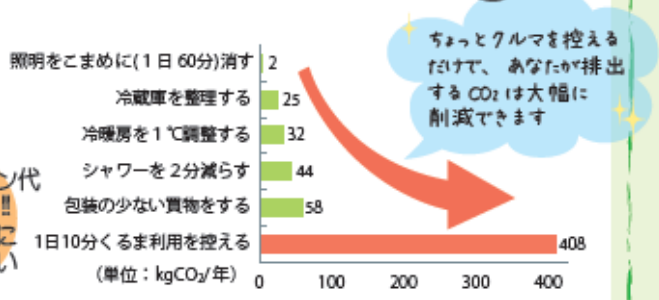
たしかにクルマは便利な乗り物ですが、 クルマ以外の手段も使いながらかしこく通勤することで、 お得なこともたくさんあります！

たとえば、 朝の通勤ラッシュの時間帯、 渋滞の中イライラするよりも自転車で行けば、 気分もリフレッシュし、 脳も活性化されます♪ もちろんガソリン代も$CO_2$排出もゼロ
電車やバスを使っても、 移動中の読書や勉強を習慣化してしまえば、 自分磨きの時間に
毎日朝寝坊したいという人には移動中の居眠りもできます

ここでは、エコでお得なクルマ以外の通勤方法についてご紹介します。
**できることからできる日だけでも始めてみませんか？**

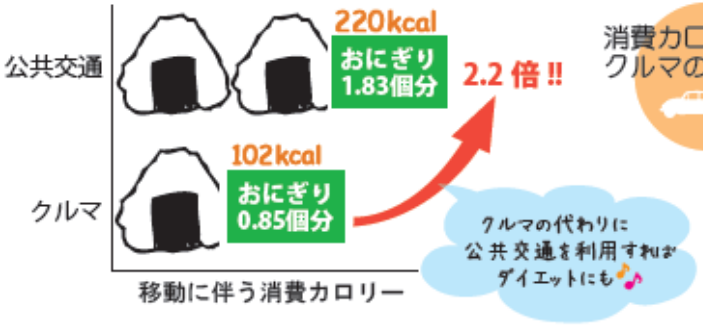
## たまには、徒歩・自転車で通勤してみる

毎日クルマで通勤しているけど、実は徒歩や自転車で通勤できるところにお住まい…なんてことはありませんか？気候の良い日など、たまには徒歩や自転車で通勤するだけでもこんなに良いことがあります




## たまには、バス・電車で通勤してみる

バス・電車は環境負荷が低くエコな乗り物です みんなで乗りあえば乗りあうほどエコな乗り物になりますし、乗ることがバスや電車の存続を支えることにもなります
バス停や駅まで歩いて移動することで、座りっぱなしのクルマと比べると2倍以上カロリーも消費 移動中に本を読んだり、勉強したりすれば、自分磨きの時間にもなります



※参考：日本モビリティ・マネジメント会議 http://www.jcomm.or.jp/info/healthy.html

## あなたのペースで、できることから少しずつ.. エコ通勤にご協力ください

### 南部地域新公共交通 10月より運行開始!!

通勤が便利になります!!

幹線バス

朝：最短4分間隔
（鳥取駅着）

夕：15分間隔
（鳥取駅21時発が最終）

※詳しくは、鳥取市HPの時刻表をご覧ください

### ノルデ運動（ノーマイカー通勤）

この機会にぜひ!!

参加登録者は鳥取市内エリアにつき路線バスが片道上限200円に

※南部地域は幹線200円／支線100円

【実施期間】平成24年
10月22～26日
11月26～30日

### いつでも、どこでもバスネット

鳥取だけ!!

県内の路線バス・鉄道の時刻・経路が検索可能!!

★携帯電話・スマートフォン・パソコンから利用できます

←バスネットのアクセスはこちらから

鳥取 バスネット 検索

## 1-5　コミュニケーション・アンケート

### (1) 調査の概要

| | |
|---|---|
| 調査内容 | コミュニケーション・アンケートを次頁に示す。<br>○個人属性<br>○普段の通勤方法（交通手段・経由地・時間）<br>○帰りの交通手段・経由について<br>○自宅最寄の JR 駅・バス停<br>○鳥取市内路線バスの利用状況<br>○動機付けちらしの内容で興味をもった内容<br>○徒歩・自転車・バス・電車などによる通勤のメリットとして、興味をもった項目<br>○「エコ通勤」実施意向<br>○「エコ通勤」を実施するため、障壁になっている点<br>○「ノルデ運動」参加意向<br>○「バスネット」の認知状況<br>○「バスネット」の利用（※実際に利用してもらうための設問）<br>○「バスネット」の機能で興味をもった点 |
| 調査方法 | ○市役所・県職員：メールによる動機付けちらしの配信と web 上でのアンケート実施<br>○市内事業所：協力のいただける事業所に対して、動機付けちらしの配布とアンケートの実施（事業所代表者を通じて職員に配布） |
| 調査実施時期 | ○市役所・県職員：平成 24 年 8 月～10 月<br>○市内事業所：平成 24 年 9 月～10 月 |
| 回収状況 | ○市役所・県職員：600<br>○市内事業所：40 |

みんなで守ろう!!

# 鳥取市の公共交通アンケート調査

【市役所職員向け】

○本調査は、ノルデ運動(ノーマイカー通勤)の促進や公共交通利用の促進、市内の通勤者の通勤交通の実態を把握する等を目的として、実施します。
○ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理を行い、この目的以外に使用することはありません。
○本調査で収集した個人情報は、個人情報保護法に基づき厳重に管理します。
○また、アンケートの集計結果につきましては、市のホームページ等を通じて皆様にお知らせすることを予定しています。

あなた自身のことや日常の「移動」について、おたずねします。

**問1. あなた自身のことについておたずねします。**

| | |
|---|---|
| 自宅住所 | |
| 職場住所 | |
| 性 別 | ◎男性　◎女性 |
| 年 齢 | 歳 |
| 世帯での自動車保有台数 | 台 |
| 出勤時間 | 自宅を出る時間:(　)時(　)分　職場に着く時間:(　)時(　)分 |
| 帰宅時間 | 職場を出る時間:(　)時(　)分　自宅に着く時間:(　)時(　)分 |

**問2－1. あなたの普段の通勤方法(交通手段・経由地・時間)について、例を参考にお答えください。**

(行き)

自宅

例1)マイカーで直接職場に行くAさんの場合(クリック)

例2)電車で通勤するBさんの場合(クリック)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):(　)

(経由地①)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):(　)

(経由地②)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):(　)

(経由地③)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):(　)

(経由地④)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):(　)

(経由地⑤)

・交通手段:
・所要時間:

職場

**問2－2. 帰りの交通手段・経由等が「行き」と異なることはありますか。**

- ◎ 毎日異なる
- ◎ 週に3～4日異なる
- ◎ 週に1～2日異なる
- ◎ 月に2～3日異なる
- ◎ ほとんど「行き」と同じである

**問2－3. 帰りの交通手段・経由等が「行き」と異なる場合は、その内容をご記入ください。**

例)帰りはスーパー○○店に立ち寄ることが多い

**問3. 自宅の最寄のJR駅とバス停について、それぞれの名称と自宅からの距離を教えてください。**

最寄のJR駅(　　)駅　　自宅から約(　　)mまたは徒歩で(　　)分

- ◉ 最寄のバス停(　　)　　自宅から約(　　)mまたは徒歩で(　　)分
- ◎ 最寄のバス停がわからない(バス停がわからない方はこちらを選択してください。)

**問4. 通勤以外の買物や娯楽等も含めて、現在どの程度、鳥取市内の路線バスを利用していますか？**

- ◎ 週に5日以上
- ◎ 週に3～4日
- ◎ 週に1～2日
- ◎ 月に2～3日
- ◎ 年に数日
- ◎ 利用しない

**問5・問6は、メールに添付する「みんなで守ろう！鳥取市の公共交通アンケート調査」をご覧になりながらお答えください。**

**問5. ちらしの内容で、興味をもったものを教えてください。**[ちらしを見る]
(複数回答可)

《1枚目》
- □ 地域の生活を守るため、地球の健康を守るため、私たちに何ができるでしょうか..
- □ 山陰では「クルマ通勤じゃないとムリ…？」

《2枚目》
- □ たまには、徒歩・自転車で通勤してみる
- □ たまには、バス・電車で通勤してみる
- □ 南部地域　新公共交通も10月より運行開始!!
- □ ノルデ運動(ノーマイカー通勤)
- □ いつでも、どこでもバスネット

**問6. クルマ以外の徒歩・自転車・バス・電車などによる通勤のメリットとして、興味をもった項目を教えてください。**　(複数回答可)

《たまには、徒歩・自転車で通勤してみる》
- □ 渋滞と無縁に！
- □ CO2の排出がゼロ
- □ 気分リフレッシュで仕事もはかどる
- □ ガソリン代の節約！！お財布にやさしい
- □ 自転車って実は早い！
- □ たまの休みでクルマも長持ち
- □ 減量・ダイエット

《たまには、バス・電車で通勤してみる》
- □ 消費カロリーはクルマの倍以上く
- □ たまの休みでクルマも長持ち
- □ 移動時間を有効活用
- □ CO2の排出が少ない
- □ 気分リフレッシュで仕事もはかどる
- □ 仕事帰りの一杯も気兼ねなく

**問7. 今後少しずつでも、徒歩・自転車・バス・電車などによる「エコ通勤」を行いたいと思いますか。**

- ◎ とても思う
- ◎ まあ思う
- ◎ どちらでもない
- ◎ あまり思わない
- ◎ 全く思わない

**問8. クルマに頼らない「エコ通勤」を実践するために、どのようなことが障壁となっていると思いますか。**
（複数回答可）

- □ バス停が遠い
- □ 駅が遠い
- □ 出勤の際に利用できる、ちょうど良いダイヤのバスがない
- □ 出勤の際に利用できる、ちょうど良いダイヤの鉄道がない
- □ 帰宅の際に利用できる、ちょうど良いダイヤのバスがない
- □ 帰宅の際に利用できる、ちょうど良いダイヤの鉄道がない
- □ バスと鉄道の接続が悪い
- □ 帰り道で、買い物などに立ち寄ることができない
- □ 交通費がかさむ

**問9. 鳥取市ではノルデ運動（ノーマイカー通勤）を推奨しています。**
10月22日（月）～10月26日（金）、11月26日（月）～11月30日（金）の期間には、ノーマイカー通勤参加登録者について、鳥取市内のエリアにつき、通勤時の路線バス運賃を200円（片道）とするキャンペーンも実施します。
（南部地域については、幹線便を200円、支線便を100円）
**ノルデ運動（ノーマイカー通勤）に参加したいと思いますか。**

- ○ とても思う
- ○ まあ思う
- ○ どちらでもない
- ○ あまり思わない
- ○ 全く思わない

**鳥取県内の路線バスや鉄道の時刻・経路が検索できるインターネットサービス「バスネット」についてお聞きします。**

**問10. 「バスネット」のサービスがあることはご存じでしたか。**

- ○ 知っていてすでに使っている → 今までに（　　）回使ったことがある
- ○ 知っているが使ったことはない
- ○ 知らなかったが、今後使ってみたい
- ○ 知らなかったし、今後使うつもりもない

問11. ためしに、お手持ちの携帯電話を利用してご自宅から職場までの移動方法を検索してみてください。
バスネットへは、下のQRコード、またはhttp://www.ikisaki.jp/よりアクセスできます。
検索結果を入力してください。

自宅

・交通手段:
・所要時間:

QRコード

(バス停・駅名など):( )
(経由地①)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):( )
(経由地②)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):( )
(経由地③)

・交通手段:
・所要時間:

(バス停・駅名など):( )
(経由地④)

・交通手段:
・所要時間:

職場

問12. 「バスネット」の機能で、便利だと思ったものをすべて選択してください。 (複数回答可)

- □ 目的地までの所要時間がわかる
- □ バスだけでなく、鉄道も含めた乗換え情報がわかる
- □ 目的地までに利用するバスや鉄道などの料金がわかる
- □ 出発地・目的地は地名や施設名から選択できる他、地図上からも指定できる
- □ 携帯電話やスマートフォンからも利用できる
- □ 下記の対象路線では、「今バスがどこを走っているのか」がわかる、バスロケーションシステムが利用できる

【対象路線】湖山鳥大線、湖岸線、鹿野線、賀露循環線、砂丘線、岩井線、砂丘線、中央病院行、北園循環線、十六本松線

アンケートの入力が終わりましたら『入力内容確認』ボタンを押してください。

入力内容確認

（2）調査結果

①市役所・県職員を対象にした調査の結果　（基礎集計結果）

【問1】 あなた自身のことについておたずねします。

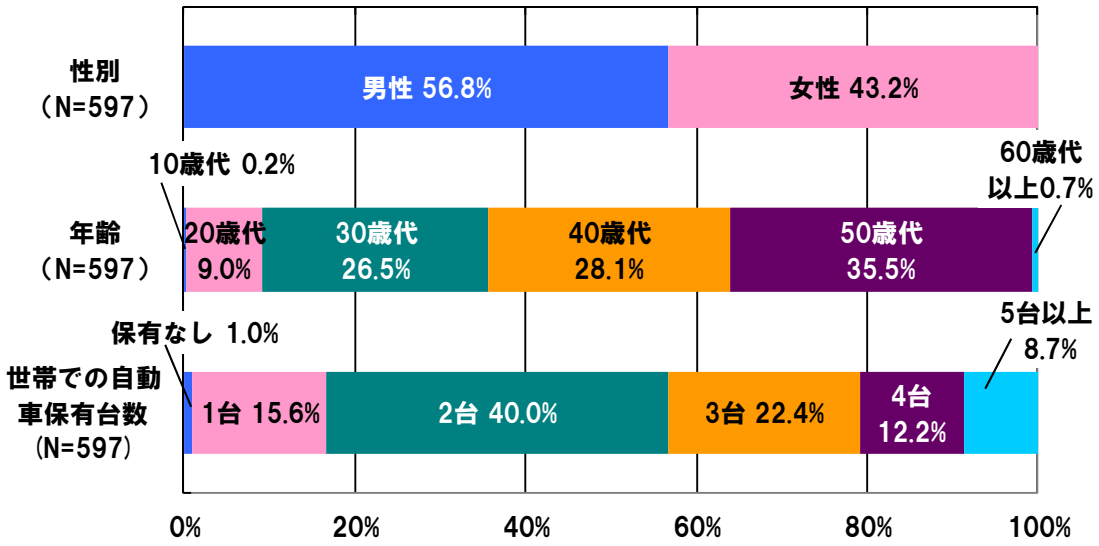
回答者の居住地

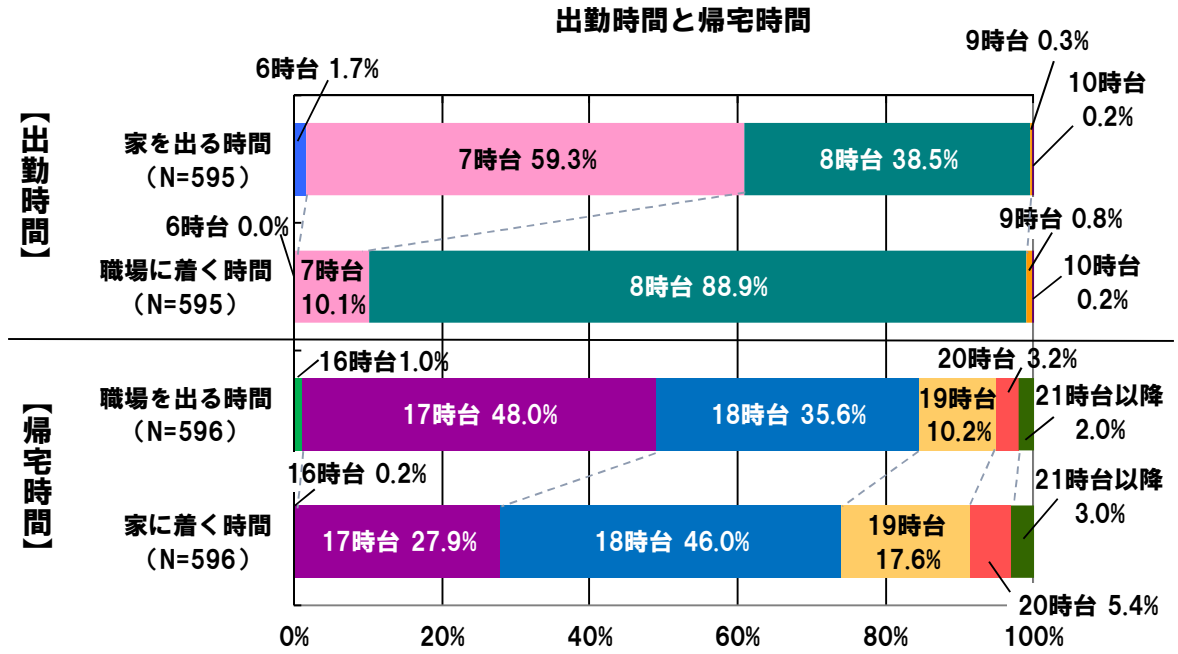
| 住所 | % | 人 |
|---|---|---|
| 旧鳥取市 | 55.6% | 332 |
| 国府町 | 7.2% | 43 |
| 福部町 | 1.8% | 11 |
| 河原町 | 8.9% | 53 |
| 用瀬町 | 3.2% | 19 |
| 佐治町 | 3.9% | 23 |
| 気高町 | 6.5% | 39 |
| 鹿野町 | 3.2% | 19 |
| 青谷町 | 4.5% | 27 |
| 鳥取市外 | 5.2% | 31 |
| 合計 | | 597 |

回答者の勤務地

| 住所 | % | 人 |
|---|---|---|
| 旧鳥取市 | 71.9% | 429 |
| 国府町 | 6.4% | 38 |
| 福部町 | 2.0% | 12 |
| 河原町 | 3.4% | 20 |
| 用瀬町 | 4.5% | 27 |
| 佐治町 | 3.2% | 19 |
| 気高町 | 4.0% | 24 |
| 鹿野町 | 2.3% | 14 |
| 青谷町 | 2.3% | 14 |
| 鳥取市外 | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 597 |

**回答者の属性**

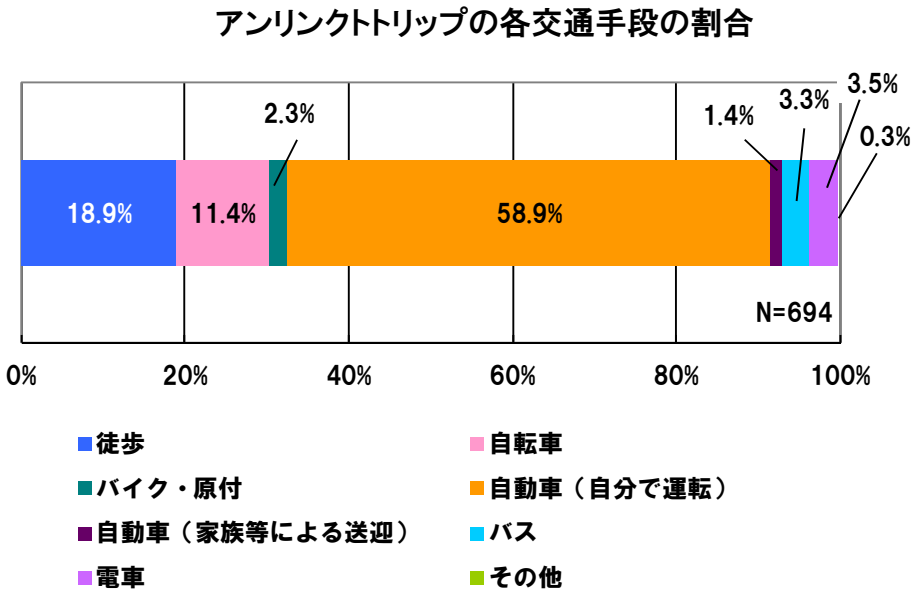





○世帯での自動車保有台数は、２台が最も多く 40%で、５台以上も 8.7%見られた。
○出勤時間については 7～8 時台、帰宅時間が 17～18 時台が多くなっている。

【問 2-1】 あなたの普段の通勤方法についてお答えください。

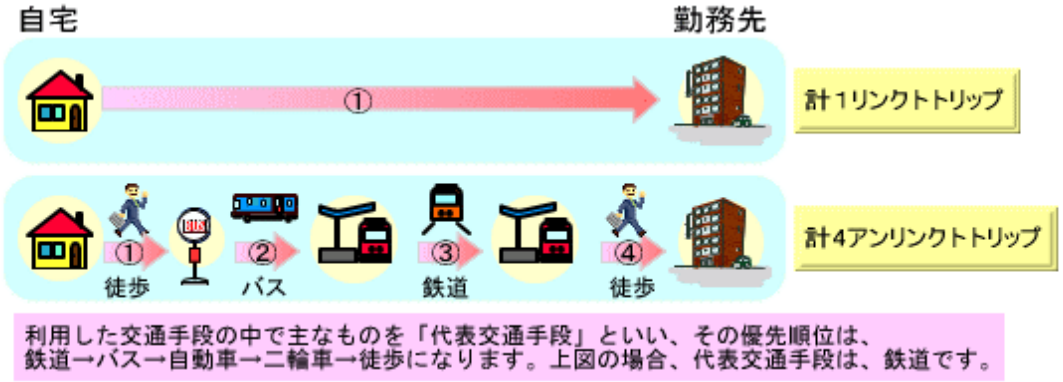
通勤時（片道）の平均アンリンクトトリップ数：1.2　(N=587)



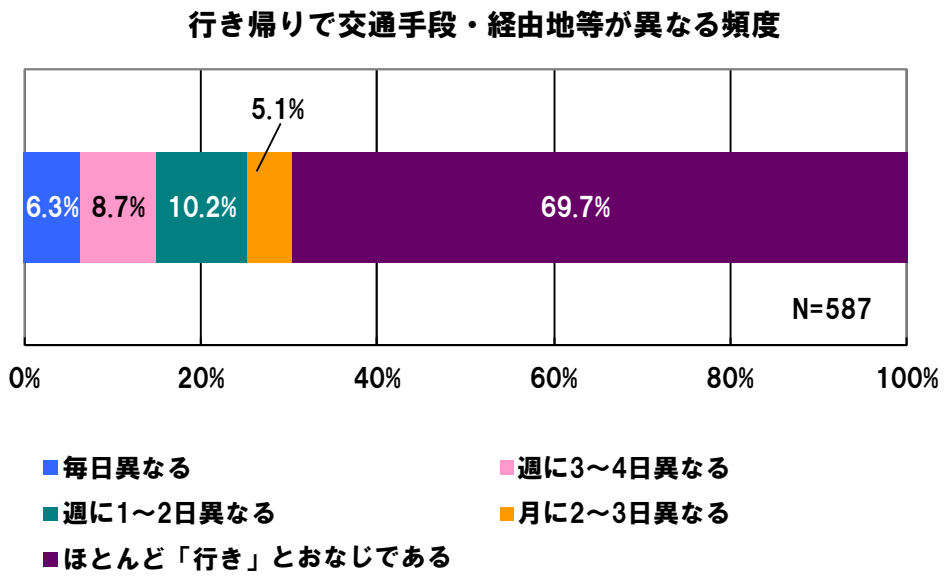

○アンリンクトトリップの各交通手段の割合は、「自動車（自分で運転）」が 6 割近くと最も高く、次いで「徒歩」、「自転車」の順で高い割合となった。

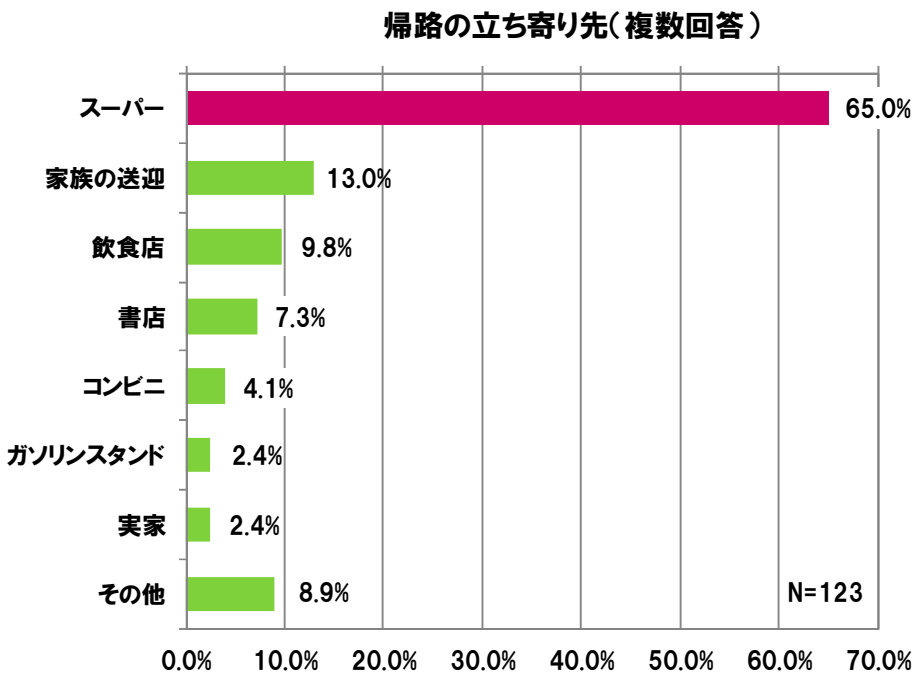
※アンリンクトトリップ：ある目的（例えば、出勤や買物など）を持って起点から終点へ移動する際の、一つの「交通手段」による移動を単位としている。

アンリンクトトリップの例



【問 2-2】 帰りの交通手段・経由等が「行き」と異なることはありますか。



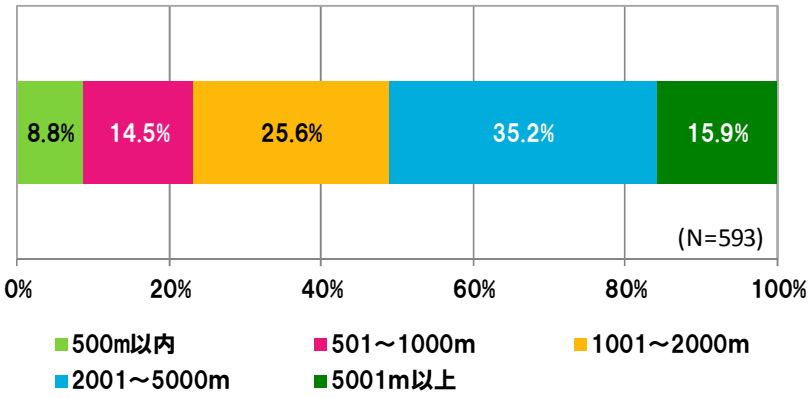




○帰りの交通手段・経由地について、「ほとんど行きとおなじである」と答えた人が 69.7%と最も高くなった。

○また、帰路の立ち寄り先については「スーパー」が 65.0%と最も多く、次いで「家族の送迎」が 13.0%となった。

【問 3】 自宅の最寄りの JR 駅とバス停について、それぞれの名称と自宅からの距離を教えてください。

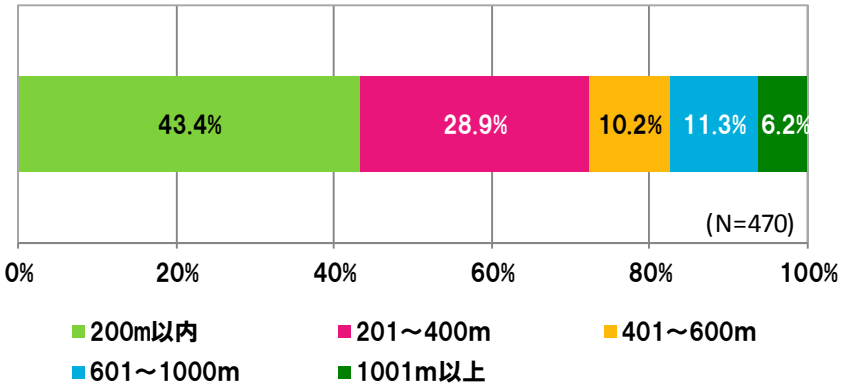
**自宅から最寄りのJR駅までの距離**




最寄りの JR 駅

| 駅名 | % | 回答者数 |
|---|---|---|
| 鳥取 | 46.3% | 277 |
| 津ノ井 | 7.9% | 47 |
| 浜村 | 7.4% | 44 |
| 河原 | 6.5% | 39 |
| 用瀬 | 5.5% | 33 |
| 青谷 | 4.5% | 27 |
| 湖山 | 3.5% | 21 |
| 郡家 | 2.3% | 14 |
| 宝木 | 2.2% | 13 |
| 鷹狩 | 2.0% | 12 |
| 国英 | 2.0% | 12 |
| 鳥取大学前 | 2.0% | 12 |
| その他 | 7.9% | 47 |
| 合計 | | 598 |

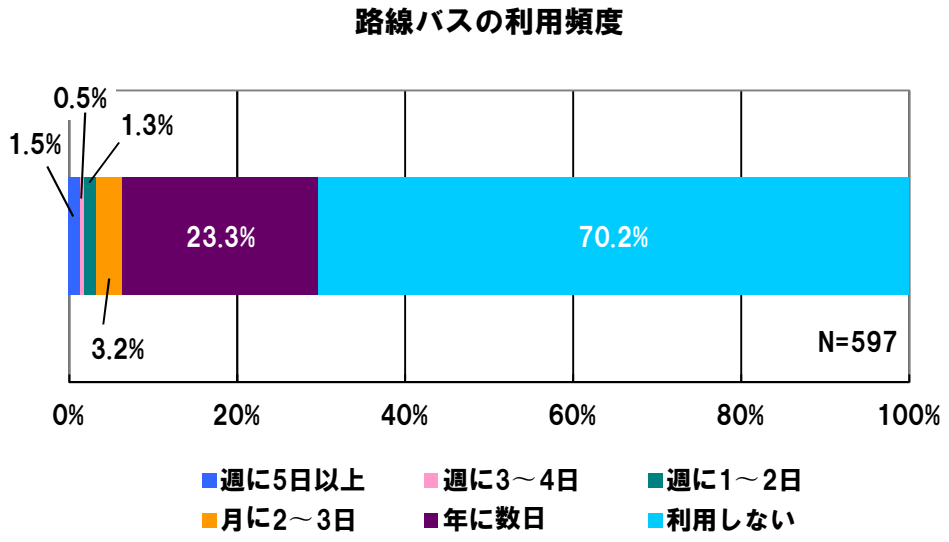
**自宅から最寄りのバス停までの距離**




○自宅から最寄りの JR 駅までの距離は、1 ㎞以上離れているとの回答が 7 割以上に達し、JR を利用しにくい環境にあることがわかる。

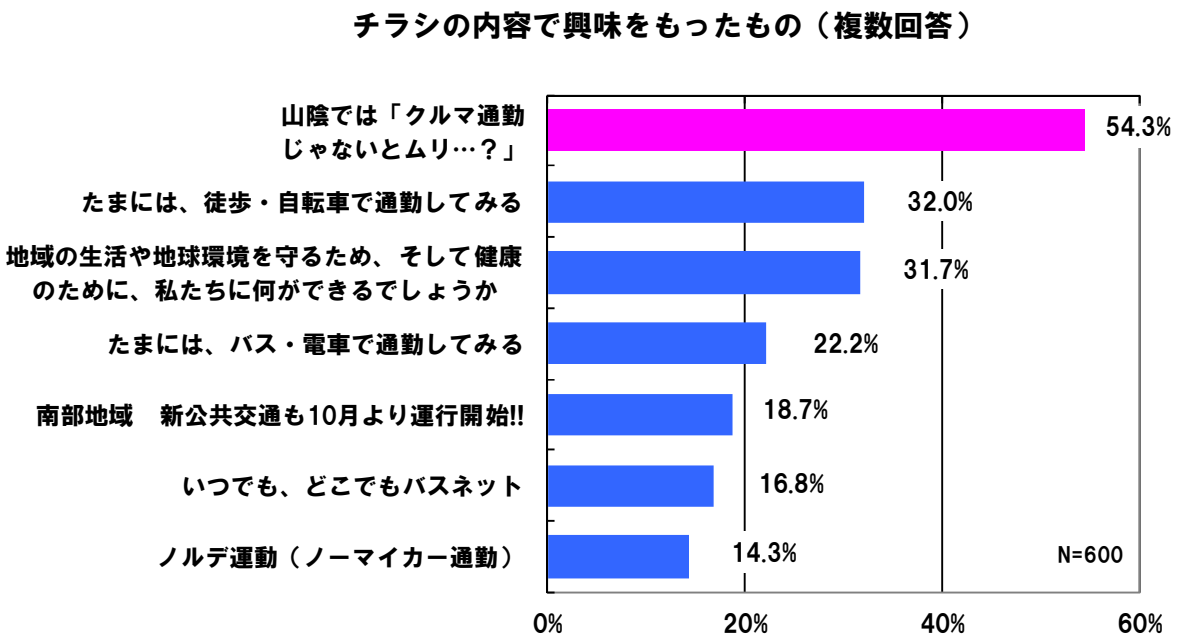
○自宅から最寄りのバス停までの距離は、「200m以内」が 43.4%、「201～400m」が 28.9%と、バス停から 400m圏内の割合が全体の 72.3%となった。

【問 4】 通勤以外の買物や娯楽等も含めて、現在どの程度、鳥取市内の路線バスを利用していますか？



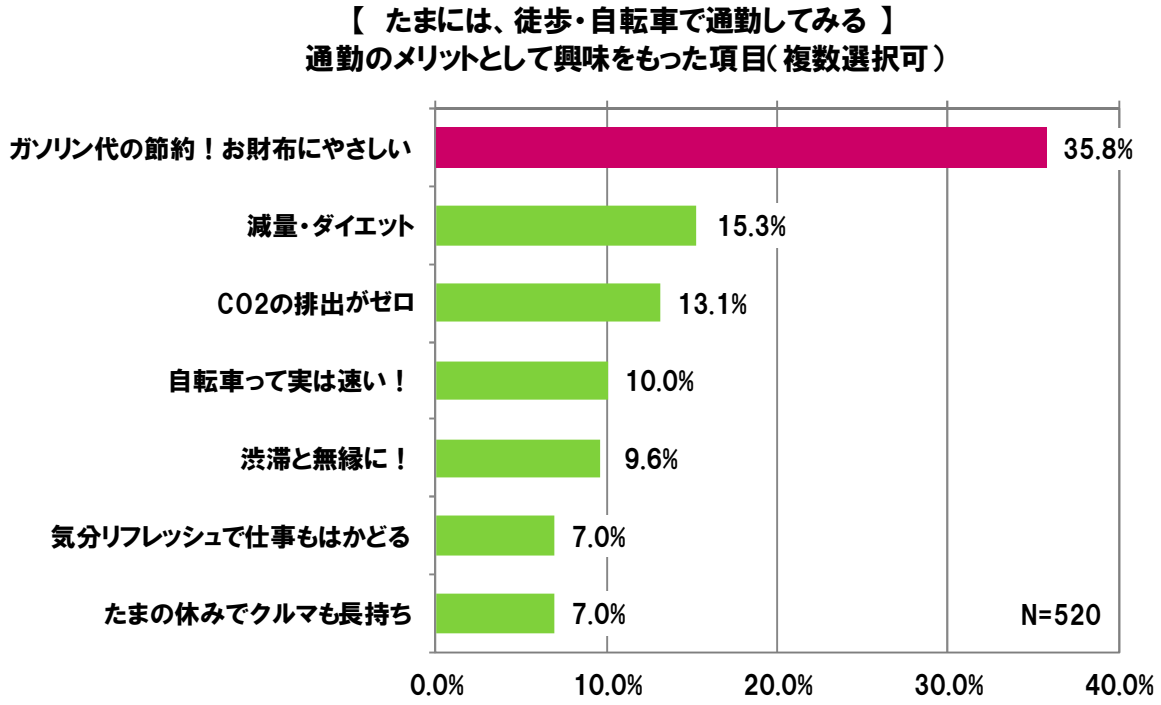

○路線バスの利用頻度について、「利用しない」と答えた人が 70.2%となった。
○「利用する」と答えた人についても、「年に数日」23.3%、「月に 2～3 日」3.2%と、利用頻度は低い傾向となった。

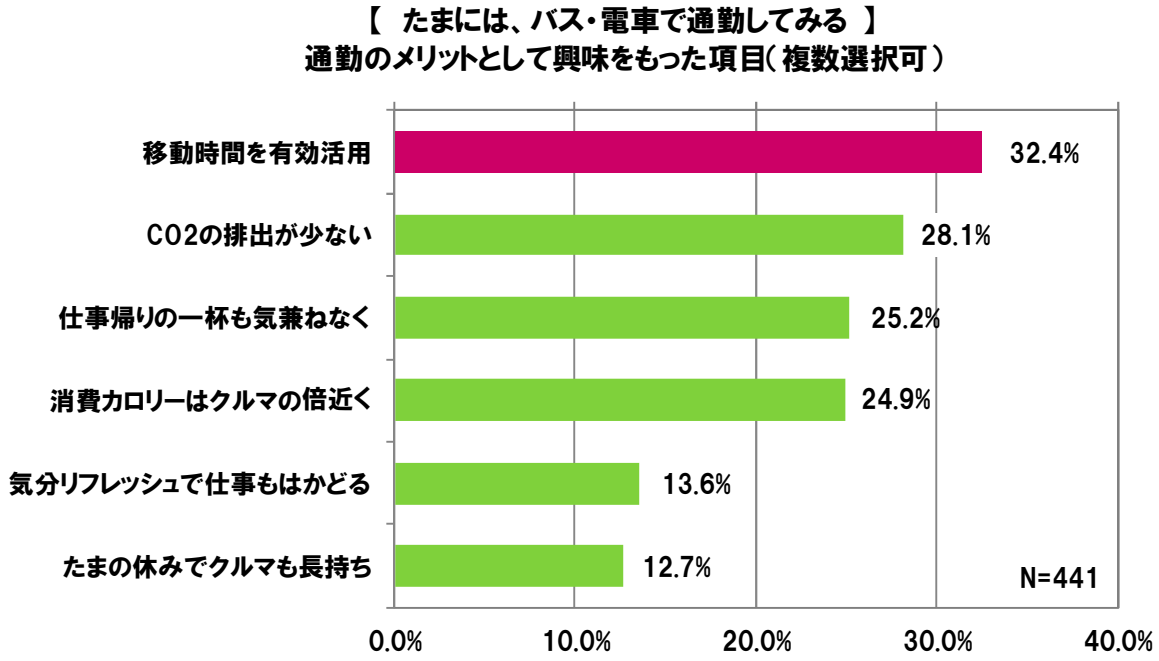
【問 5】 ちらしの内容で興味をもったものを教えてください。




○チラシの内容で興味をもったものについて、「山陰では「クルマ通勤じゃないとムリ？」」が 54.3%と最も高くなった。

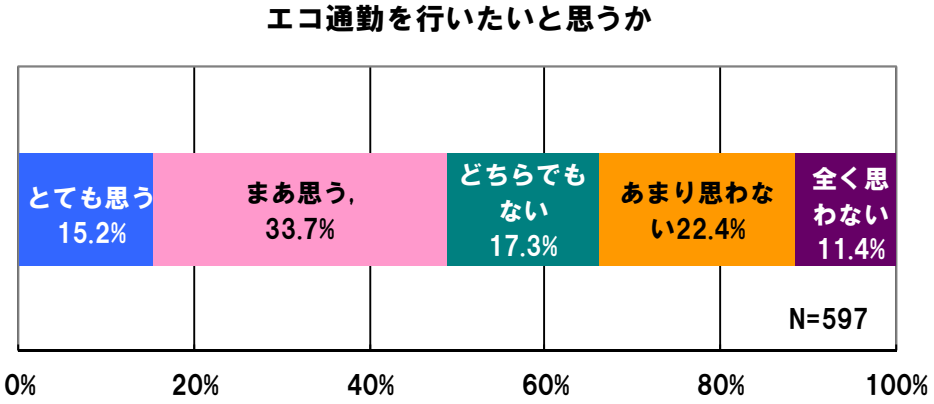
【問 6】 クルマ以外の徒歩・自転車・バス・電車などによる通勤のメリットとして、興味をもった項目を教えてください。



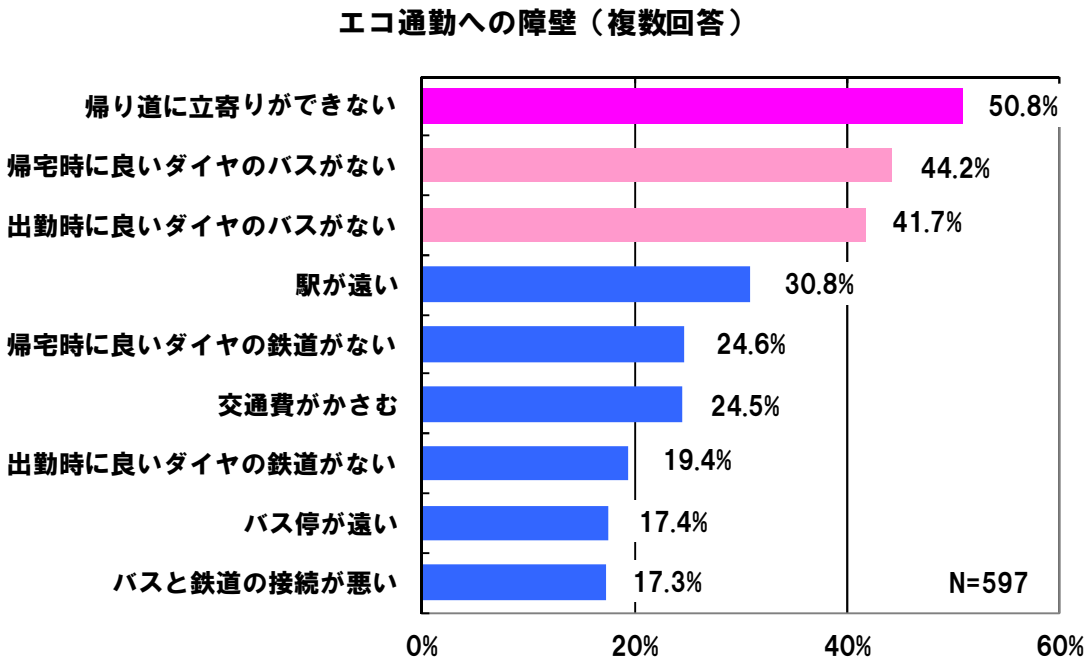

○徒歩、自転車通勤のメリットとして興味を持った項目については、「ガソリン節約！お財布にやさしい」が 35.8%と最も高くなった。
○バス・電車通勤のメリットとして興味を持った項目については、「移動時間を有効活用」が 32.4%と最も高かった。

【問 7】 今後すこしずつでも、徒歩・自転車・バス・電車などによる「エコ通勤」を行いたいと思いますか。



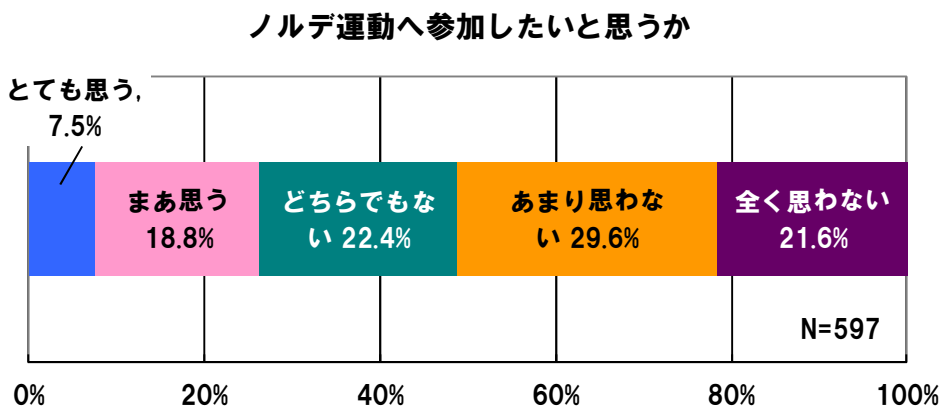

○「とても思う」が 15.2%、「まあ思う」が 33.7%となり、両者をあわせてエコ通勤を行いたいと思う人は 48.9%と、全体の約半数に達した。

【問 8】 クルマに頼らない「エコ通勤」を実践するために、どのようなことが障壁となっていると思いますか。（複数回答可）



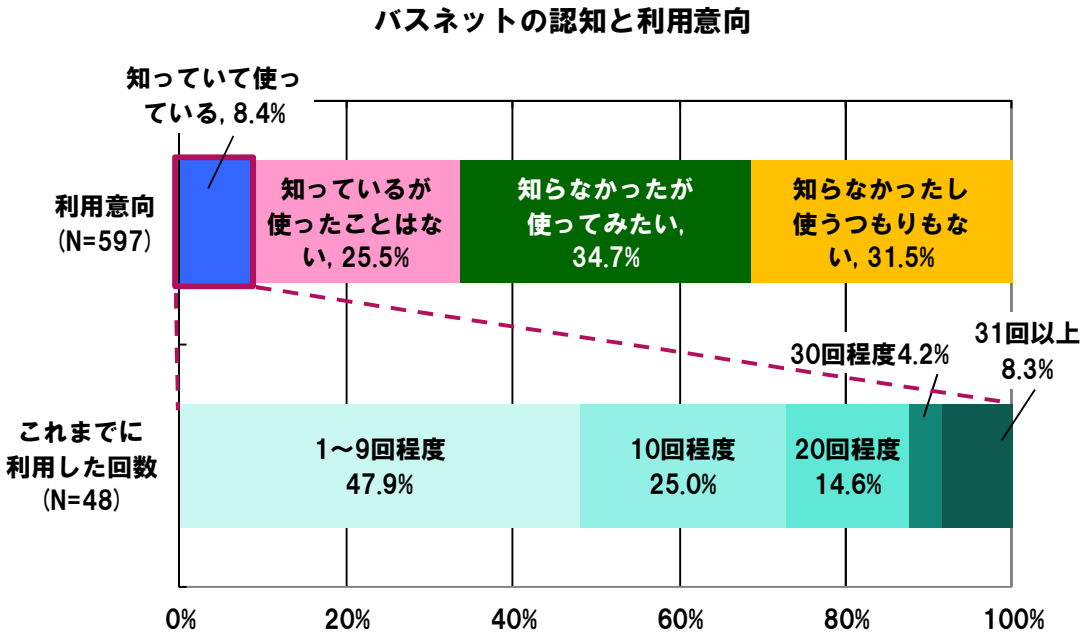

○エコ通勤への障壁については「帰り道に立ち寄りができない」が 50.8%と最も高く、また、「帰宅時に良いダイヤのバスがない」が 44.2%、「出勤時に良いダイヤのバスがない」が 41.7%と、行き帰りのバスのダイヤが合わないことが障壁となっている。

【問 9】 ノルデ運動（ノーマイカー通勤）に参加したいと思いますか？




○ノルデ運動への参加意向は、「とても思う」が 7.5%、「まあ思う」が 18.8%と、参加意向のある人は全体の 26.3%となり、先の設問の「エコ通勤を行いたいと思う人 48.9%」に比べて低い割合となった。

【問 10】「バスネット」のサービスがあることはご存じでしたか。




○バスネットのサービスについて、「知っている」人は 33.9%、「知らなかった」人は 66.2%で、「知らなかったが使ってみたい」人は全体の 34.7%となった。
○これまでに利用した回数は「1～9 回程度」が 47.9%と最も高くなったものの、「31 回以上」も 8.3%見られた。

②市内事業所を対象にした調査の結果　（基礎集計結果）

【問1】 あなた自身のことについておたずねします。

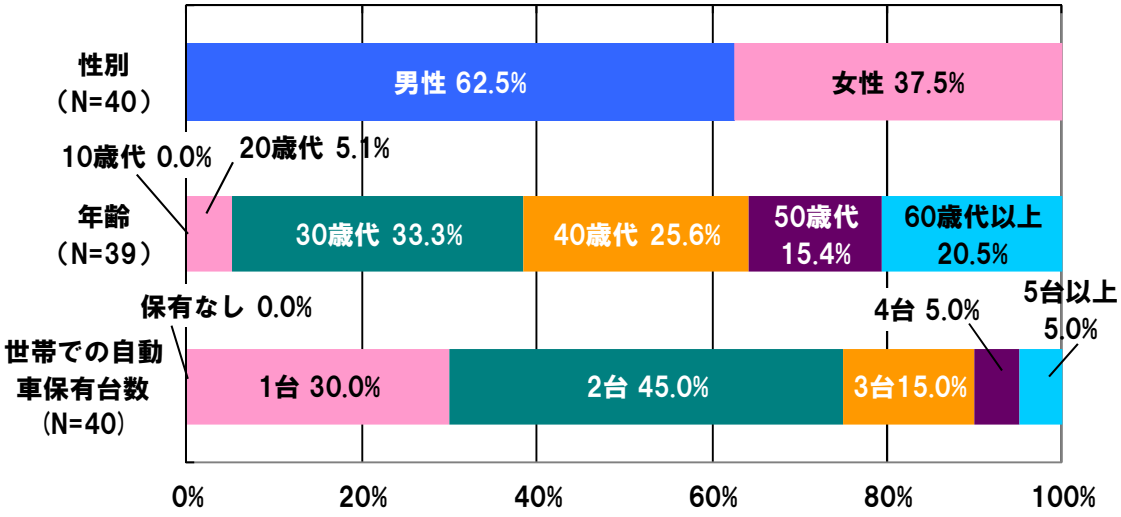
回答者の居住地

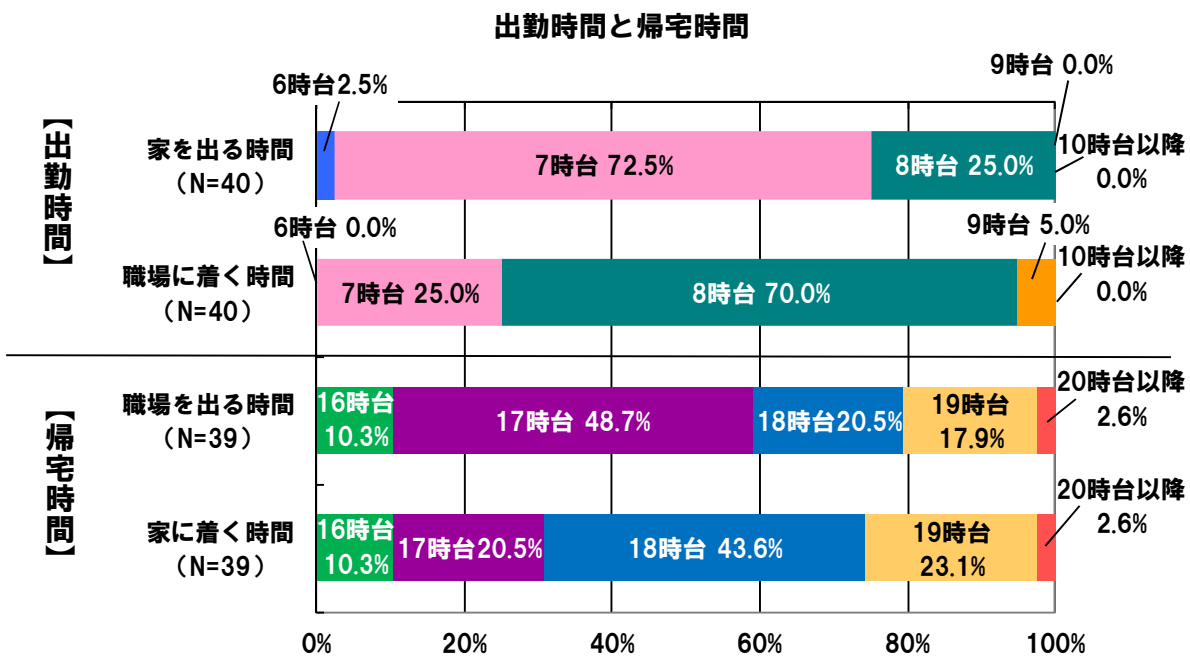
| 住所 | % | 人 |
|---|---|---|
| 旧鳥取市 | 76.3% | 29 |
| 国府町 | 2.6% | 1 |
| 福部町 | 5.3% | 2 |
| 河原町 | 0.0% | 0 |
| 用瀬町 | 0.0% | 0 |
| 佐治町 | 0.0% | 0 |
| 気高町 | 0.0% | 0 |
| 鹿野町 | 13.2% | 5 |
| 青谷町 | 0.0% | 0 |
| 鳥取市外 | 2.6% | 1 |
| 合計 | | 38 |

回答者の勤務地

| 住所 | % | 人 |
|---|---|---|
| 旧鳥取市 | 100.0% | 37 |
| 国府町 | 0.0% | 0 |
| 福部町 | 0.0% | 0 |
| 河原町 | 0.0% | 0 |
| 用瀬町 | 0.0% | 0 |
| 佐治町 | 0.0% | 0 |
| 気高町 | 0.0% | 0 |
| 鹿野町 | 0.0% | 0 |
| 青谷町 | 0.0% | 0 |
| 合計 | | 37 |

**回答者の属性**

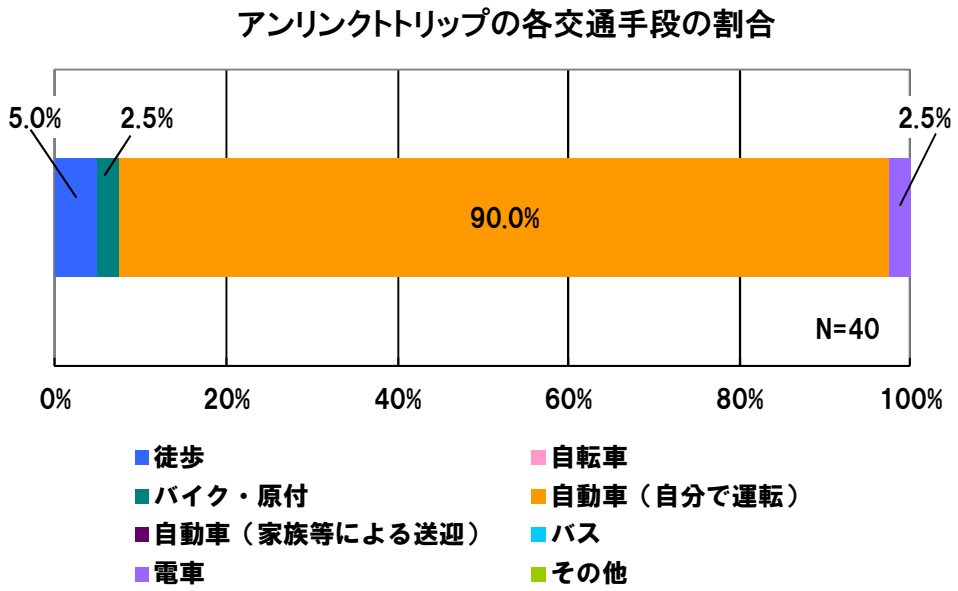





○世帯での自動車保有台数は、２台が最も多く 45.0%で、５台以上も 5.0%見られた。
○出勤時間については 7～8 時台、帰宅時間が 17～18 時台が多くなっている。

【問 2-1】 あなたの普段の通勤方法（交通手段・経由地・時間）についてお答えください。

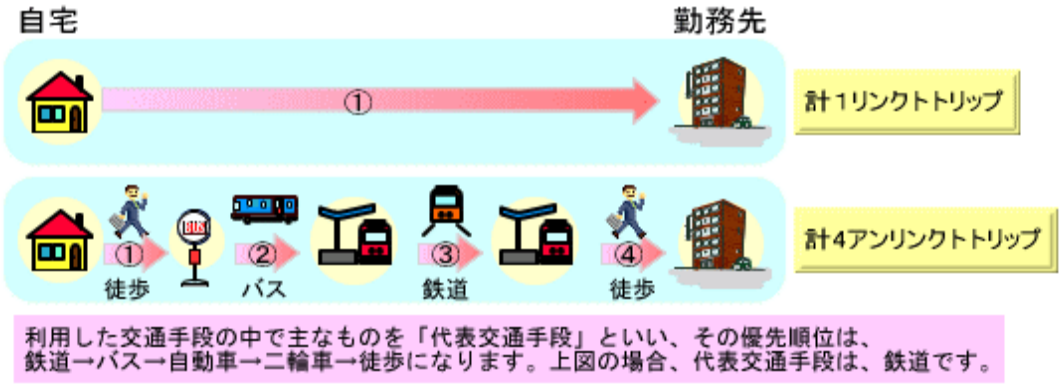
## 通勤時（片道）の平均アンリンクトトリップ数：1.1　(N=38)



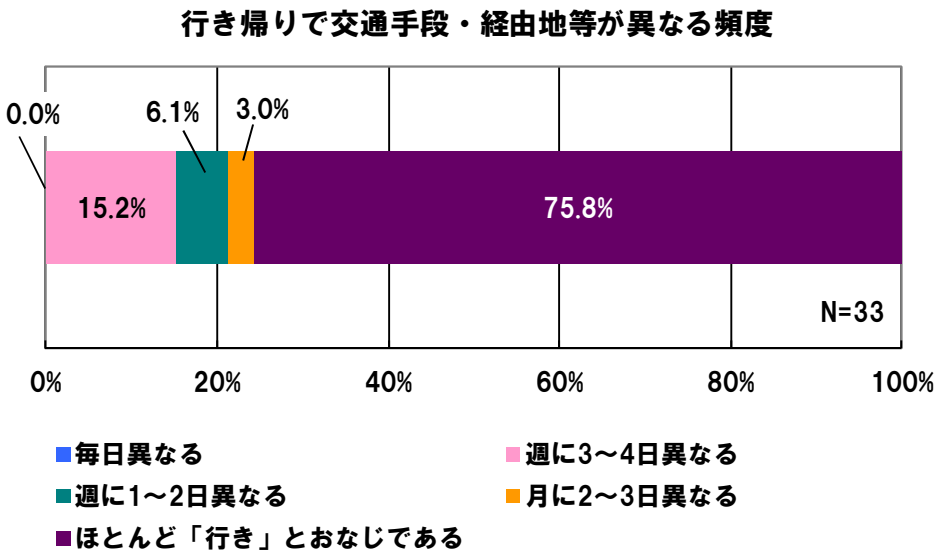

○アンリンクトトリップの各交通手段の割合は、「自動車（自分で運転）」が 90%をしめた。
○また、「電車」2.5%、「バス」0.0%と、公共交通を利用して通勤する人の割合はかなり低くなっている。

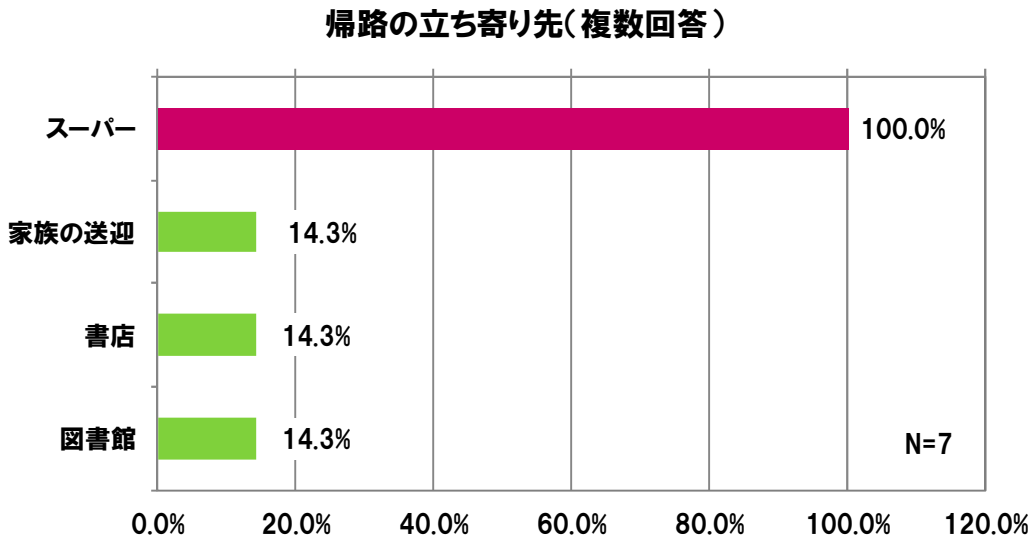
※アンリンクトトリップ：ある目的（例えば、出勤や買物など）を持って起点から終点へ移動する際の、一つの「交通手段」による移動を単位としている。

アンリンクトトリップの例



【問 2-2】 帰りの交通手段・経由等が「行き」と異なることはありますか。

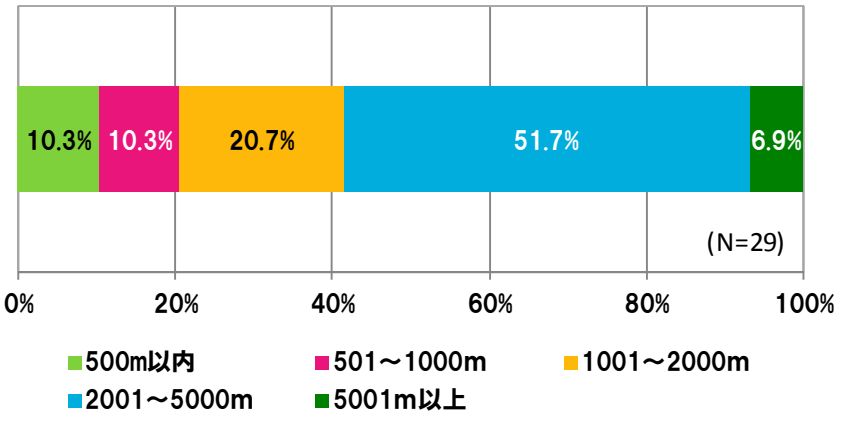



○行き帰りでの交通手段・経由地が異なる頻度について、「ほとんど「行き」とおなじである」が 75.8%と最も高くなった。
○帰路の立ち寄り先（複数回答）としては「スーパー」の選択率が 100%となった。

【問 3】 自宅の最寄りの JR 駅とバス停について、それぞれの名称と自宅からの距離を教えてください。

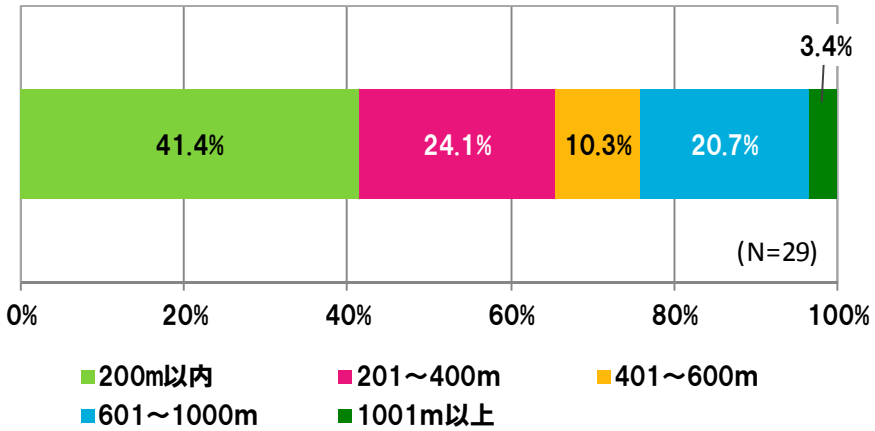
**自宅から最寄りのJR駅までの距離**




最寄りの JR 駅

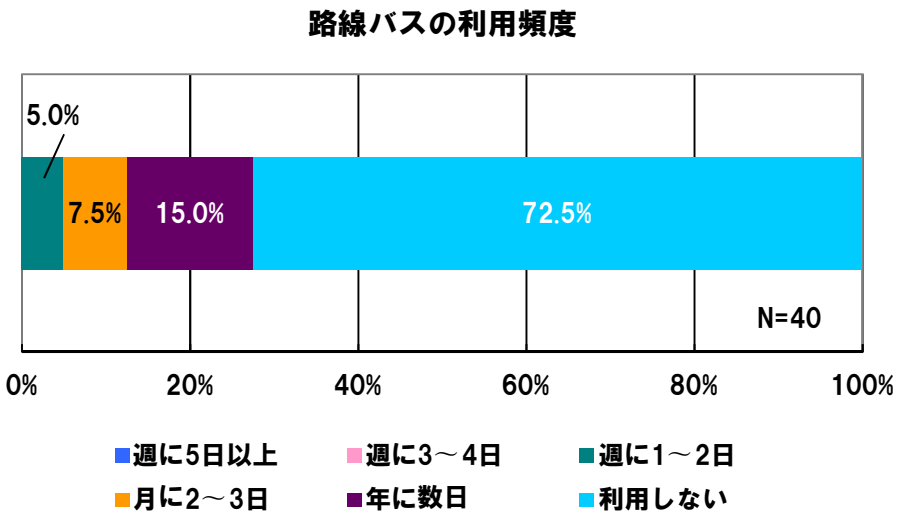
| 最寄りの駅 | % | 回答者数（人） |
|---|---|---|
| 鳥取 | 46.7% | 14 |
| 浜村 | 13.3% | 4 |
| 津ノ井 | 10.0% | 3 |
| 湖山 | 10.0% | 3 |
| 福部 | 6.7% | 2 |
| 鳥取大学前 | 6.7% | 2 |
| 未垣 | 3.3% | 1 |
| 郡家 | 3.3% | 1 |
| 合計 | | 30 |

**自宅から最寄りのバス停までの距離**



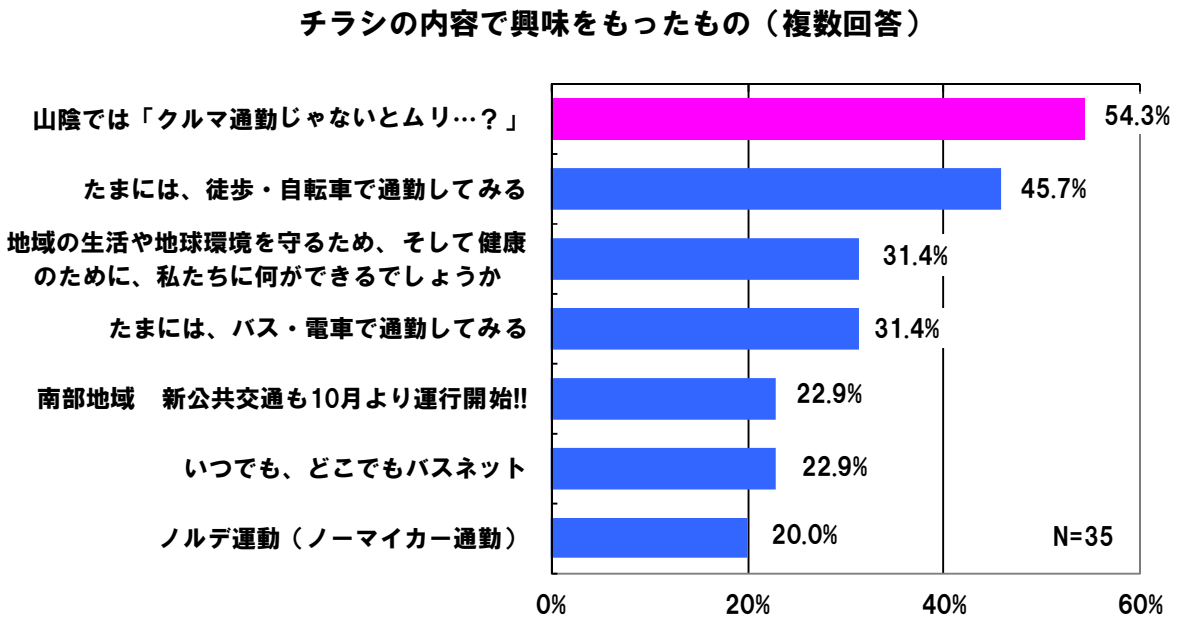

○最寄りの JR 駅までの距離について、1km以上の割合が全体の 79.3%と８割近くに達した。また、最寄りの駅については「鳥取駅」が 46.7%と最も多かった。
○最寄りのバス停までの距離については、「200m以内」が 41.4%と最も多かった。

【問 4】 通勤以外の買物や娯楽等も含めて、現在どの程度、鳥取市内の路線バスを利用していますか？




○路線バスの利用頻度について、「利用しない」が 72.5%と最も多く、ついで「年に数回」15.0%となった。

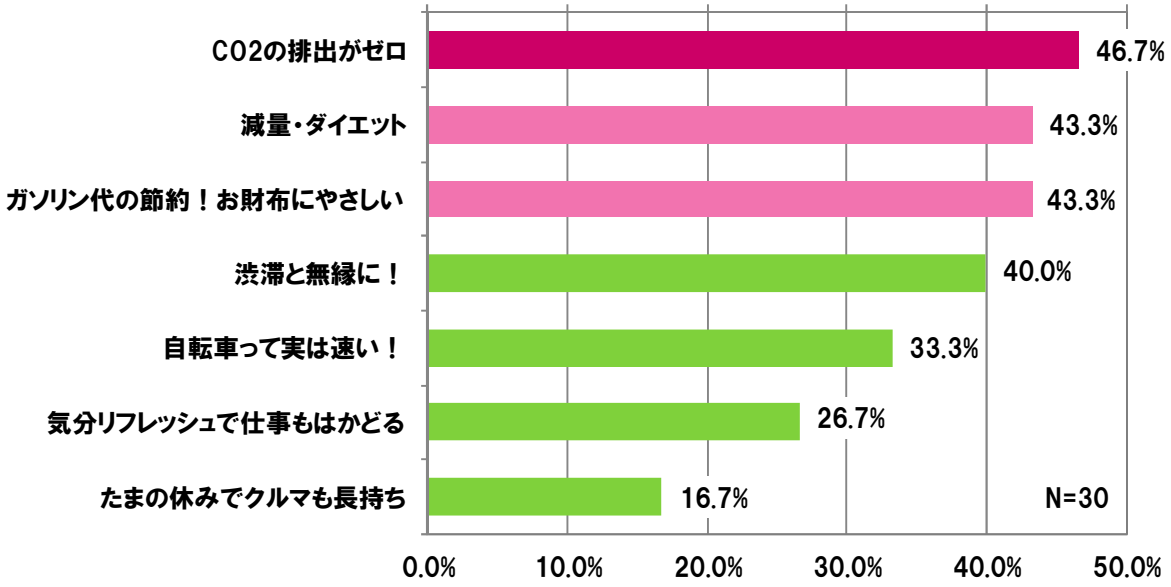
【問 5】 ちらしの内容で興味をもったものを教えてください。



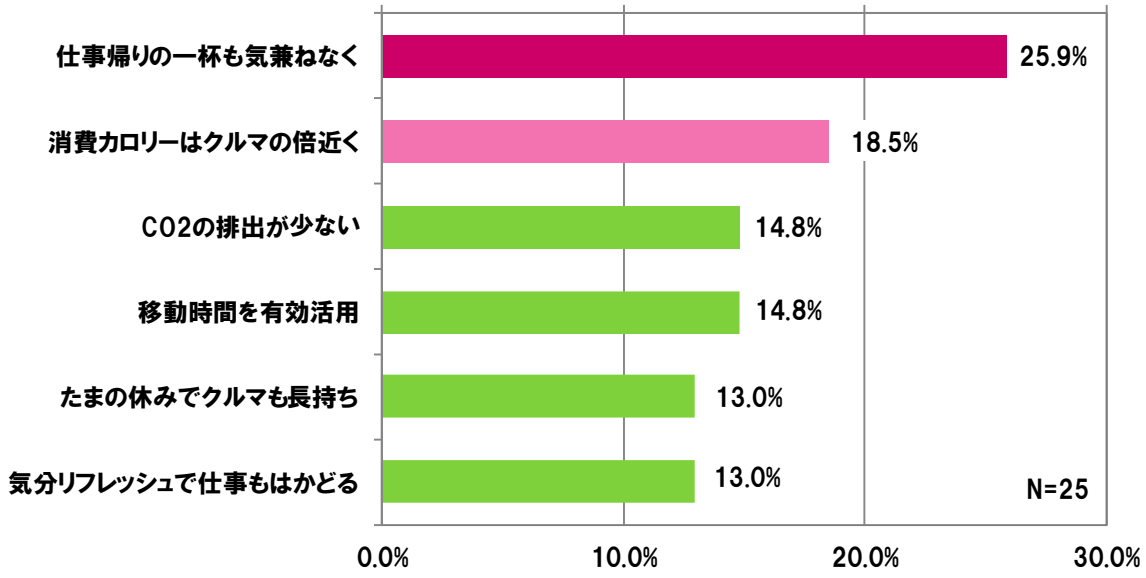

○ちらしの内容で興味をもったものについて、「山陰では「クルマ通勤じゃないとムリ？」」が 54.3%と最も高く、ついで「たまには徒歩・自転車で通勤してみる」が 45.7%となった。

【問 6】 クルマ以外の徒歩・自転車・バス・電車などによる通勤のメリットとして、興味をもった項目を教えてください。（複数回答可）

【 たまには、徒歩・自転車で通勤してみる 】
通勤のメリットとして興味をもった項目（複数選択可）

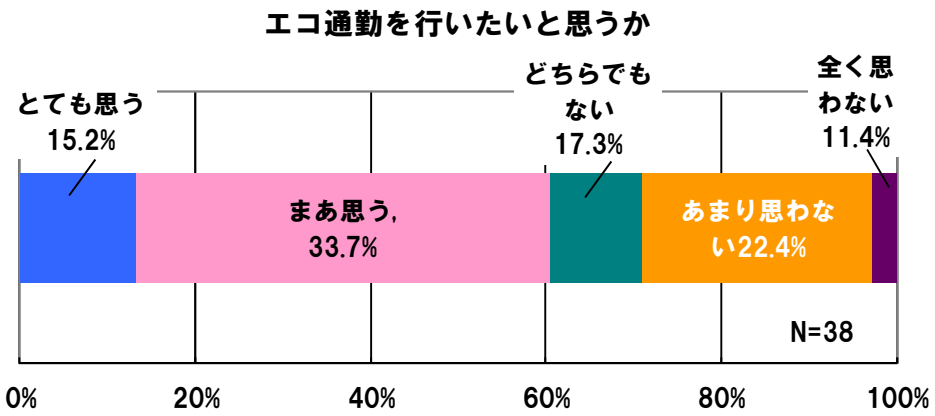



【 たまには、バス・電車で通勤してみる 】
通勤のメリットとして興味をもった項目（複数選択可）



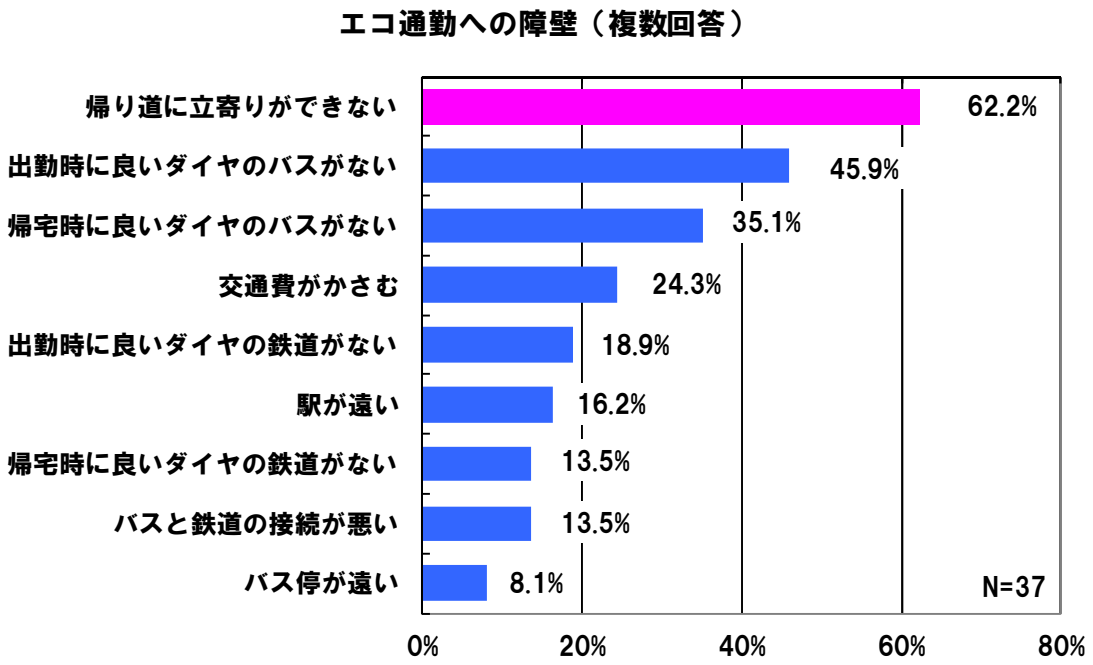

○徒歩、自転車通勤のメリットとして興味を持った項目については、「CO2 の排出がゼロ」が 46.7%と最も高かった。
○バス・電車通勤のメリットとして興味を持った項目については、「仕事帰りの一杯も気兼ねなく」が 25.9%と最も高くなった。

【問 7】 今後すこしずつでも、徒歩・自転車・バス・電車などによる「エコ通勤」を行いたいと思いますか。




○エコ通勤を行いたいと思うかについては、「とても思う」13.2%、「まあ思う」47.4%で、エコ通勤を行う意向のある人が全体の 60.6%となった。

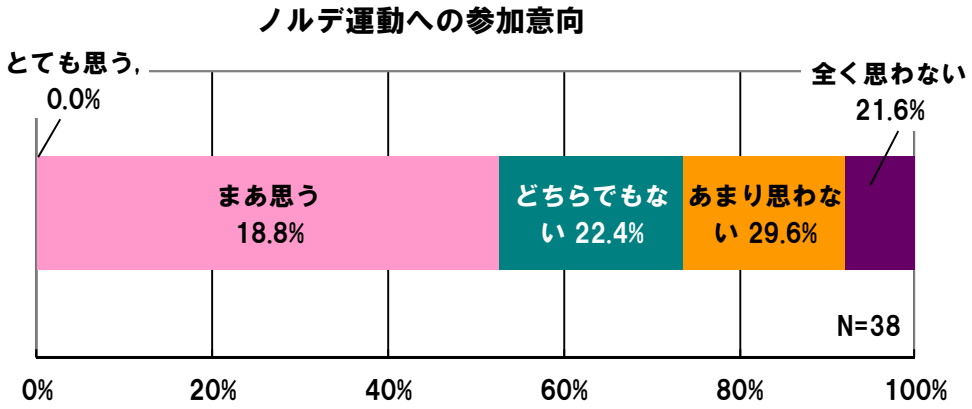
【問 8】 クルマに頼らない「エコ通勤」を実践するために、どのようなことが障壁となっていると思いますか。（複数回答可）




○エコ通勤実践への障壁については、「帰り道に立ち寄りができない」が 26.1%と最も高かった。

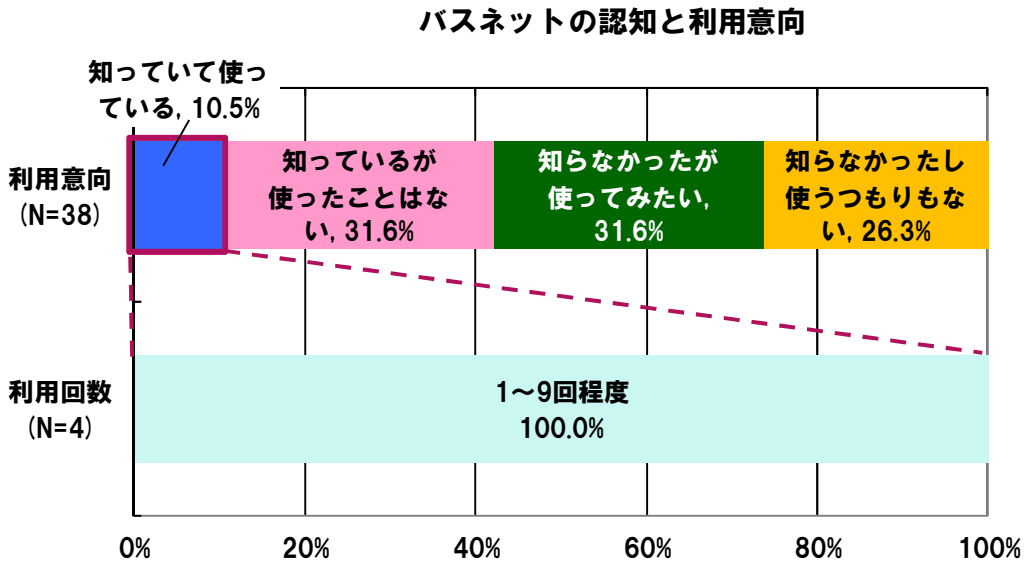
○ついで「出勤時に良いダイヤのバスがない」19.3%、「帰宅時に良いダイヤのバスがない」が 14.8%となり、行き帰りのバスのダイヤが合わないことが障壁となっている。

【問 9】 ノルデ運動（ノーマイカー通勤）に参加したいと思いますか？




○ノルデ運動への参加意向は、「まあ思う」が 18.8%と最も高く、「とても思う」は 0.0%であった。

【問 10】「バスネット」のサービスがあることはご存じでしたか。




○バスネットのサービスについて、「知っている」人は 42.1%、「知らなかった」人は 57.9%で、「知らなかったが使ってみたい」人は全体の 31.6%となった。

## １－６　ノルデ運動の実績

10 月 22 日～26 日の参加表明者は 279 人（活動者は 241 人）、11 月 26 日～30 日の参加表明者は 284 人（活動者は 207 人）となった（市役所まとめ）。

10月22日～26日　実績

| 番号 | 10月 | 企業名等 | ノルデ参加数 | 実績数 | 回数 | バス | JR | 他車への相乗り | 家族の送迎 | 自転車 | 徒歩 | その他 | 自家用車 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | 鳥取市役所 | 185 | 153 | 1,530 | 155 | 50 | 116 | 37 | 270 | 104 | 15 | 783 |
| 2 | ○ | 鳥取県観光事業団 | 4 | 2 | 20 | | | | | 4 | 2 | | 14 |
| 3 | ○ | 鳥取商工会議所 | 1 | 1 | 10 | 8 | | | 2 | | | | 0 |
| 4 | ○ | 鳥取市社会福祉協議会 | 10 | 7 | 70 | 0 | 10 | 10 | 0 | 30 | 10 | | 10 |
| 5 | ○ | 鳥取市南商工会 | 2 | 2 | 20 | 2 | | | | | | | 18 |
| 6 | ○ | 鳥取市立修立小学校 | 1 | 1 | 10 | | | | | 8 | | | 2 |
| 7 | ○ | 鳥取市シルバー人材センター | 3 | 3 | 30 | 4 | | | | 14 | | | 12 |
| 8 | ○ | 鳥取銀行 | 8 | 6 | 60 | 18 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 | 0 | 34 |
| 9 | ○ | 日ノ丸自動車株式会社 | 10 | 10 | 100 | 64 | | | | | 20 | | 16 |
| 10 | ○ | 鳥取いなば農協協同組合 | 3 | 3 | 30 | 7 | | | | | 3 | | 20 |
| 11 | ○ | 日本交通株式会社 | 10 | 8 | 80 | 3 | 0 | 8 | 1 | 4 | 0 | 0 | 64 |
| 12 | ○ | 山陰合同銀行 | 5 | 5 | 50 | 1 | | | 3 | 22 | 4 | | 20 |
| 13 | | 鳥取信用金庫 | 3 | 0 | 0 | | | | | | | | |
| 14 | ○ | 中国運輸局鳥取運輸支局 | 3 | 3 | 30 | 10 | | 2 | 2 | 14 | | | 2 |
| 15 | ○ | 鳥取県庁 | 31 | 37 | 370 | 16 | 16 | 10 | | 48 | | | 280 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | 279 | 241 | 2,410 | 288 | 80 | 146 | 45 | 418 | 143 | 15 | 1,275 |
| | | | | | | 12% | 3% | 6% | 2% | 17% | 6% | 1% | 53% |

11月26日～30日　実績

| 番号 | 11月 | 企業名等 | ノルデ参加数 | 実績数 | 回数 | バス | JR | 他車への相乗り | 家族の送迎 | 自転車 | 徒歩 | その他 | 自家用車 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | 鳥取市役所 | 190 | 136 | 1,360 | 131 | 45 | 160 | 28 | 128 | 59 | 20 | 789 |
| 2 | ○ | 鳥取県観光事業団 | 4 | 4 | 40 | 2 | | | | 10 | 2 | 12 | 14 |
| 3 | | 鳥取商工会議所 | 1 | 0 | | | | | | | | | |
| 4 | ○ | 鳥取市社会福祉協議会 | 10 | 7 | 70 | | 8 | 10 | | 10 | 10 | | 32 |
| 5 | | 鳥取市南商工会 | 2 | 0 | | | | | | | | | |
| 6 | ○ | 鳥取市立修立小学校 | 1 | 1 | 10 | | | | | 4 | | | 6 |
| 7 | ○ | 鳥取市シルバー人材センター | 3 | 3 | 30 | 12 | | 2 | | 6 | | | 10 |
| 8 | ○ | 鳥取銀行 | 8 | 3 | 30 | 6 | 4 | | | 5 | | | 15 |
| 9 | ○ | 日ノ丸自動車株式会社 | 10 | 10 | 100 | 64 | | | | | 20 | | 16 |
| 10 | ○ | 鳥取いなば農協協同組合 | 3 | 3 | 30 | 5 | | | 1 | | 8 | | 16 |
| 11 | ○ | 日本交通株式会社 | 10 | 10 | 100 | 3 | | 10 | 1 | 6 | | | 80 |
| 12 | ○ | 山陰合同銀行 | 5 | 5 | 50 | 1 | | 1 | 4 | 22 | 4 | | 18 |
| 13 | ○ | 鳥取信用金庫 | 3 | 2 | 20 | 4 | 7 | 5 | | | | | 4 |
| 14 | ○ | 中国運輸局鳥取運輸支局 | 3 | 2 | 20 | 2 | | 2 | | 10 | | | 6 |
| 15 | ○ | 鳥取県庁 | 31 | 21 | 210 | 16 | 16 | 2 | | 12 | | | 164 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| | | 計 | 284 | 207 | 2,070 | 246 | 80 | 192 | 34 | 213 | 103 | 32 | 1,170 |
| | | | | | | 12% | 4% | 9% | 2% | 10% | 5% | 2% | 56% |

ノルデ運動参加者がすべてマイカー通勤していたと仮定し、各参加者の通勤距離とノルデ運動参加日数から推定した CO2 排出削減量（バス利用や鉄道利用による CO2 排出量は考慮していない）を下記に示す（市役所まとめ）。

| ノルデ運動　ノーマイカー通勤実績報告書　（平成24年度10月分） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 参加者数 （人） | 通勤距離（片道） （km） | 今月の通勤日数 （日） | $CO_2$排出量（往復／日） （kg） | 通勤日の毎日をマイカー通勤した場合の$CO_2$排出量 A（kg） | 自転車・徒歩通勤日数 （日） | 汽車・バス通勤日数 （日） | あいのり通勤日数 （日） | エコ通勤日数 （日） | $CO_2$排出削減量 B（kg） | 節約したガソリン量 （ℓ） |
| 241 | 2174 | 1148 | 1410.82 | 70830.41 | 282 | 198 | 78 | 519.0 | 17156.52 | 7401.12 |

今回の　CO2　削減率　24.2%（B/A）

| ノルデ運動　ノーマイカー通勤実績報告書　（平成24年度11月分） | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 参加者数 （人） | 通勤距離（片道） （km） | 今月の通勤日数 （日） | $CO_2$排出量（往復／日） （kg） | 通勤日の毎日をマイカー通勤した場合の$CO_2$排出量 A（kg） | 自転車・徒歩通勤日数 （日） | 汽車・バス通勤日数 （日） | あいのり通勤日数 （日） | エコ通勤日数 （日） | $CO_2$排出削減量 B（kg） | 節約したガソリン量 （ℓ） |
| 207 | 2142 | 1039 | 1390.05 | 39331.63 | 165 | 197 | 101 | 412.0 | 9079.47 | 3913.57 |

今回の　CO2　削減率　23.1%（B/A）

※　燃費は、7．15km／Lとして計算　　※　ガソリン1ℓ消費のCO2排出量を2．32kgで計算
※　マイカー相乗りは、0．5日で計算

## １−７　フィードバックちらし

フィードバックちらしを次頁に示す。フィードバックに関しては、取組後のアンケート調査と併せて市役所職員のみに対しメールにより配信を行った。

# 2012 ノルデ運動でこんなに効果がありました!!

鳥取市では、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減や公共交通の利用促進、健康推進などを目的に、マイカーから人と環境にやさしい自転車や公共交通への転換を促す「ノルデ運動※」を進めています。

※「ノルデ運動」とは、バス、鉄道、タクシーなどの公共交通をみんなで利用し、守っていこうという、市と市民の協働の取組みです。

ノルデ運動参加者数

| 実施期間 | 市 役 所 | 市内事業所等 | 計 |
|---|---|---|---|
| 10月22～26日 | 185人 | 94人 | 279人 |
| 11月26～30日 | 190人 | 94人 | 284人 |

マイカーによる通動を控え、
- 自転車・徒歩による通動
- あいのりによる通動
- 汽車やバスによる通動

を行った結果…

**$CO_2$排出量 26,236kg 減 となりました。**

※燃費は、7.15km/ℓとして計算。ガソリン1ℓ消費の$CO_2$排出量を2.32kgで計算。マイカー相乗りは0.5日で計算。

これは、日本人13人が1年間に排出する$CO_2$に相当します。

一人あたりの年間$CO_2$排出量約1,990kgをもとに推計（出典：温室効果ガスインベントリオフィス）

＝

樹齢50年の杉の木1,874本が1年間に吸収する$CO_2$に相当

人工林の杉の木（50年生）一本当たりの年間$CO_2$吸収量約14kgをもとに推計（出典鳥取県HP「エコ通勤による$CO_2$削減量等チェックシート」）

ノルデ運動の実施により、「環境に優しいまちづくり」「高齢者や子どもなど生活しやすいまちづくり」「中心市街地の活性化」など、様々な効果が期待されます。
引き続きノルデ運動にご協力ください。

## 一人一人の小さな行動が積み重なれば大きな大きな力になります。

例えば、公共交通では…

もしも、市民1,000人が月に1回通勤でバスを利用すれば…

1,000人×600円*＝600,000円／月

＊バス料金往復600円と仮定

1年間で **7,200,000円**

バスの料金収入が720万円UP！市内の公共交通を守るための大きな力になります。

## エコ通勤に関するアンケートを実施しました！

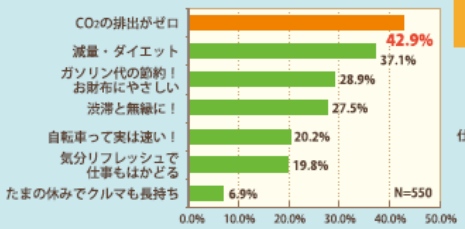
ノルデ運動を進めるにあたり、市役所・県庁職員、市内事業所等を対象にアンケート調査も行いました。調査の結果、エコ通勤のさまたげとして「出勤、帰宅時に良い運行ダイヤがない。」といった課題があげられています。

しかし、毎日ではなくても一人一人が工夫しながら少しずつ取り組むことで大きな力になります。家族のこと、将来の自分のこと、地球のことを考えて市民のみなさんでかしこくクルマを利用していきましょう！

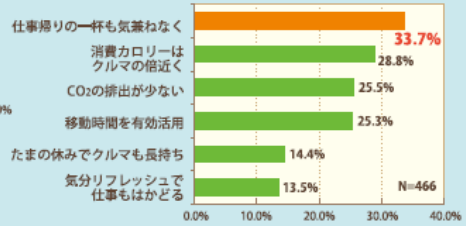
エコ通勤のメリットは・・
「$CO_2$の排出がゼロ」や「仕事帰りの一杯も気兼ねなく」等の興味が高くなっています！

| | |
|---|---|
| 調査方法 | ○市役所・県庁：メールによる動機付けちらしの配信とWeb上でのアンケート実施<br>○市内事業所等：協力のいただける事業所に対して、動機付けちらしの配布とアンケートの実施（事業所代表者を通じて職員に配布） |
| 調査実施時期 | ○市役所・県庁：平成24年８月～10月<br>○市内事業所等：平成24年９月～10月 |
| 回収状況 | ○市役所・県庁：600<br>○市内事業所等：40 |

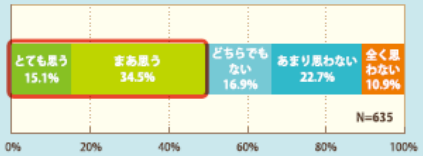
【徒歩・自転車の通勤メリット】
興味をもった項目（複数選択可）



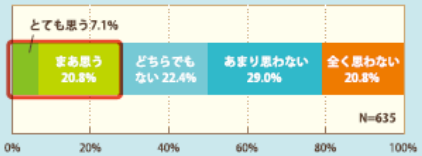

【バス・電車の通勤メリット】
興味をもった項目（複数選択可）




エコ通勤を行いたいと思うか



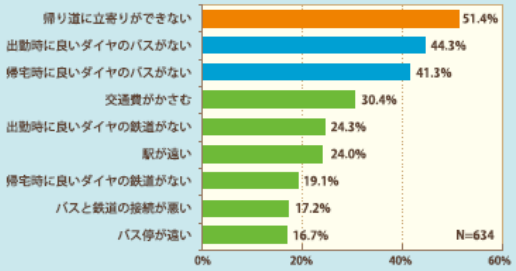

ノルデ運動へ参加したいと思うか




徒歩・自転車・バス・電車などによる「エコ通勤を行いたい」と思う方は、半数に達しました！
しかし、鳥取市で実施した「ノルデ運動」への参加意向はそれよりも低くなっています。

職場ノーマイカーデーの実施や、時間外勤務の縮減などエコ通勤をしやすい環境づくりが大切です。

エコ通勤へのさまたげ（複数回答）




**エコ通勤**
こんな方法で取り組むのはいかがでしょうか？

- 取り組む日を決める
- ノー残業デーといっしょに
- 快適な季節に気持ちよく
- みんなで飲んで地域も元気に！

## １－８　取組後のアンケート調査

### （1）調査の概要

| | |
|---|---|
| 調査内容 | 取組後のアンケート調査を次頁に示す。<br>○ちらしで興味を持った内容<br>○「エコ通勤へのさまたげ」をクリアするための制度・仕組み<br>○ノルデ運動について、どのような制度・仕組みがあれば良いか<br>○ノルデ運動に関する自由意見<br>○ノルデ運動への参加状況<br>○2013 年ノルデ運動への参加意向 |
| 調査方法 | 市役所職員：メールによるフィードバックちらしの配信と web 上でのアンケート実施 |
| 調査実施時期 | 平成 25 年 2 月 3 日～3 月 8 日 |
| 回収状況 | 202 |

みんなで守ろう!!

# 鳥取市の公共交通アンケート調査 Vol.2

【市役所職員向け】

○本調査は、ノルデ運動(ノーマイカー通勤)の促進や公共交通利用の促進、市内の通勤者の通勤交通の実態を把握する等を目的として、実施します。
○ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理を行い、この目的以外に使用することはありません。
○本調査で収集した個人情報は、個人情報保護法に基づき厳重に管理します。
○また、アンケートの集計結果につきましては、市のホームページ等を通じて皆様にお知らせすることを予定しています。

《調査主体》鳥取市ノルデ運動推進会議(鳥取市都市整備部交通政策室)

**問1. 別添のちらしで興味を持った内容について選択してください。** (複数回答可)

《ノルデ運動でこんなに効果がありました!!》
- ☐ CO2排出量26,236kg減
- ☐ これは日本人13人が・・・
- ☐ 樹齢50年の杉の木1,874本が・・・
- ☐ 一人一人の小さな行動が積み重なれば・・・

《エコ通勤に関するアンケートを実施しました!》
- ☐ 徒歩・自転車の通勤メリット
- ☐ バス・電車の通勤メリット
- ☐ エコ通勤を行いたいと思うか
- ☐ ノルデ運動へ参加したいと思うか
- ☐ エコ通勤へのさまたげ
- ☐ エコ通勤 こんな方法で取り組むのはいかがでしょうか?

**問2. 別添のちらし内で「エコ通勤へのさまたげ」があげられていますが、これをクリアするためにはどのような制度や仕組みがあれば良いと思いますか?《自由記述》**

**問3. ノルデ運動について、どのような制度や仕組みをつくれば取組やすいと思いますか?** (複数回答可)

- ☐ 職場全体でノーマイカーデーを実施する
- ☐ 日は決めずに、実施した日を個人が報告する
- ☐ 近く(片道1.5キロ以下)の移動は徒歩、自転車の利用を推進する
- ☐ 職場や駅、バス停などに自転車の駐輪スペースなどを充実させる
- ☐ 最寄り駅やバス停の近くにパーキングを確保し、P&Rの充実を図る
- ☐ 同じ職場の人と乗りあわせて通勤する「相乗り自動車通勤」を推進する
- ☐ 自動車通勤手当・駐車場手当等を減額する代わりにエコ通勤手当を創設する
- ☐ その他 ( )

**問4. その他、エコ通勤やノルデ運動に関して、ご意見等ございましたらご自由にご記入ください。ノルデ運動に参加された方は、ノルデ運動に参加してみて良かったこと、また日常の中での意識の変化等がありましたら、具体的にご記入ください。(例:本を読む時間が増えた、ダイエット効果があった、公共交通に対する意識が変わったなど)《自由記述》**

**問5. 2012年ノルデ運動には参加しましたか?**

- ○ 参加した
- ○ 参加していない

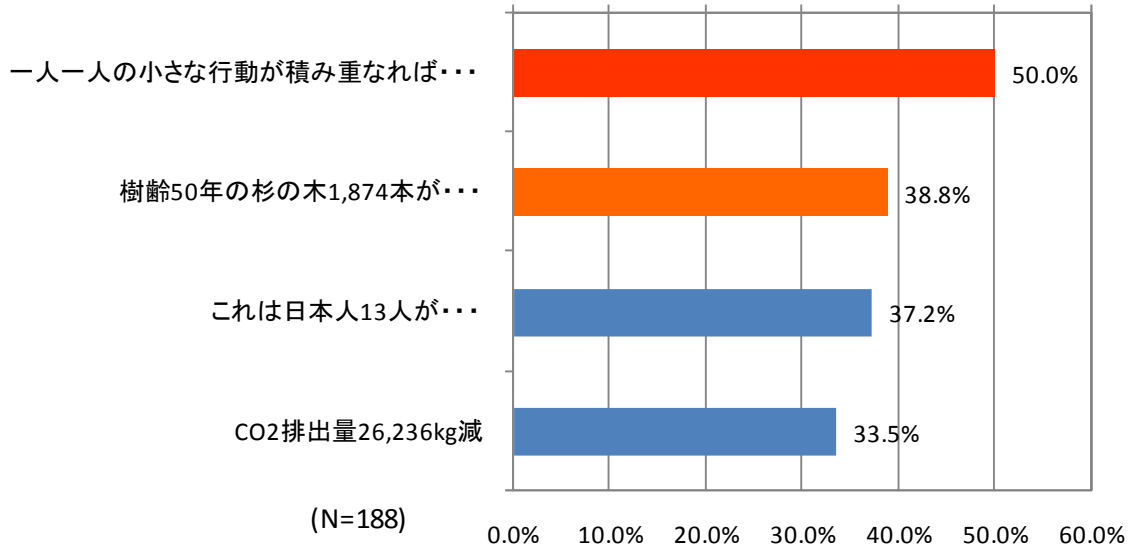
**問6. 次回、2013年ノルデ運動に参加したいと思いますか?**

- ○ 参加したい
- ○ 参加したくない
- ○ わからない

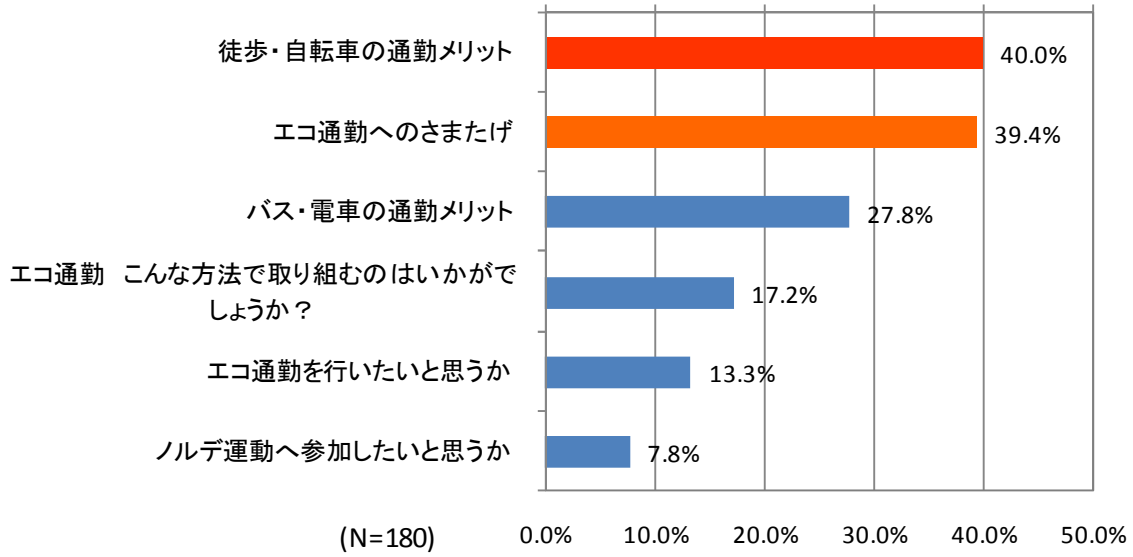
（2）調査結果

【問1】 別添のちらしで興味を持った内容について選択してください。

《ノルデ運動でこんなに効果がありました！！》



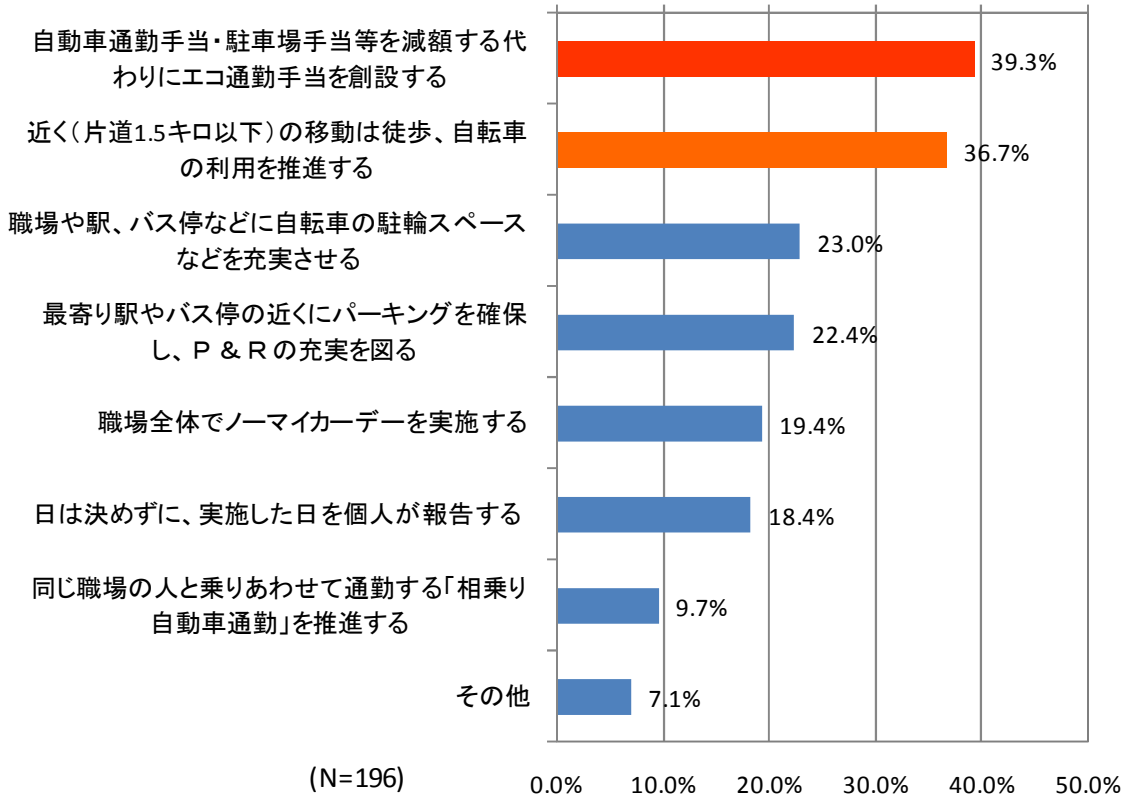

《エコ通勤に関するアンケートを実施しました！！》




○ちらしで興味をもった内容としては、「一人一人の小さな行動が積み重なれば・・」として公共交通の例を取り上げた内容が最も多くなった。

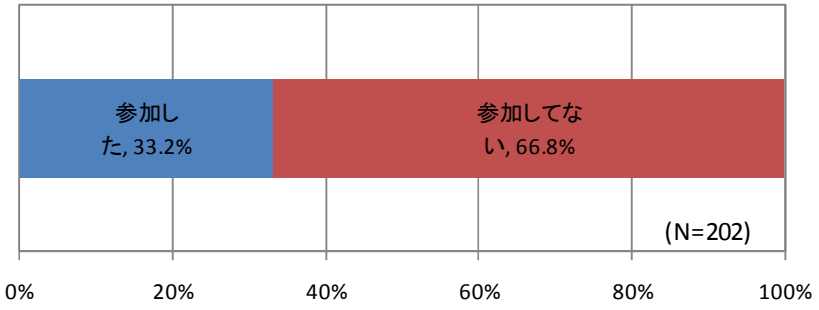
○また、アンケート内容で興味を持った点としては、「徒歩・自転車の通勤メリット」が最も多くなった。

【問3】 ノルデ運動について、どのような制度や仕組みをつくれば取組やすいと思いますか？（複数回答可）



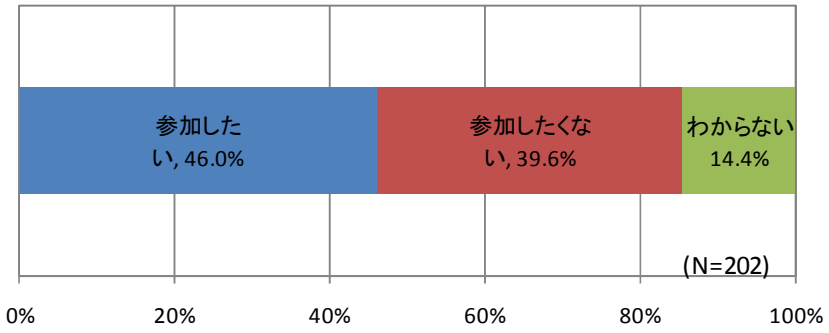

○ノルデ運動の制度や仕組みについては、「エコ通勤手当の創設」や「近くの移動は徒歩・自転車の利用を推進」などが最も多くなった。

【問5】 2012 年ノルデ運動には参加しましたか？




○ノルデ運動には、33.2%が参加したと回答した。

【問6】 次回、2013 年ノルデ運動に参加したいと思いますか？




○ノルデ運動への参加意向は、46.0%と半数近くが「参加したい」と回答している。

（3）自由意見

| 問２ 「エコ通勤へのさまたげ」をクリアするための制度や仕組み |
|---|
| 公共交通のない時間帯通勤へのタクシー代（実費）の支給制度（各事業所） |
| 用事あるとき、残業のとき帰れない。バスと汽車の料金格差がある。 |
| デマンドバスや乗合タクシー等需要とコストに見合ったきめ細やかな供給 |
| 公共交通機関の増便 |
| 特に有効な解決策は考えられません |
| バス停が近くにあり、出勤に良いダイヤがあればもう少し利用できると思います。 |
| ダイヤについて市民の要望を募集 |
| 駐車場代と公共交通機関利用代の両立（駐車場代がもったいないという思いの解決）→月極め駐車場代が日払い可能になるといいな。 |
| 勤務時間とバス・鉄道ダイヤとの融通。フレックスタイムの普及もセットで展開すべき。 |
| 時差出勤の導入（子育て世代に限らず） |
| 公共交通機関のみを通勤手当の支給対象とする。 |
| バスや鉄道の最終便の時間を遅くする。バスと鉄道の乗換えがスムーズにできるよう時間を調整する。 |
| ６ヶ月定期券の場合、一度に多額となるので、例えば市役所からバス会社に支払う方法が検討できないか。 |
| 時差出勤の検討 |
| 公共交通機関を利用することで、運転の疲れが無く夜寝つきが良くなった。 |
| 通勤時間帯のバスの便数増、路線の充実 |
| 定時で帰れない点 |
| 運賃を安くし、運行回数を充実させる。 |
| 【寄り道】安価（往復運賃+100 円以内）のワンデーパス。【ダイヤ】せめて 20 分に１本。【交通費】通勤に往復 600 円は高い。バス利用のメリットがない。 |
| バス・汽車のダイヤを増やしていただく。 |
| 今回のようにバス乗車への補助が時々でもあると利用しやすい。（通常往復１０００円以上かかると思うとなかなか利用しにくい。） |
| 公共交通の充実化 |
| 帰宅時のダイヤ問題については、常勤が少ない職場づくりの取り組みでしょうか。 |
| バスの増便（通学時間帯だけでなく通勤時間帯も）。もう少し遅い時間帯に最終バスを走らせる。JR 因美線の本数を増やす |
| 公共交通機関の充実 |
| 予約型乗合タクシーの充実（時間、本数） |
| バスの年間乗り放題パスポートを発行する。 |
| 回数券のお得感をふやす、回数券の売り場を身近なところに。 |
| 以前は交通機関に合わせて通勤していた。月１回程度ダイヤに合わせて勤務も運動の取り組みとしてはよいのでは・・一人ひとりの意識の問題かな・・ |
| ・より利便性の高い公共交通　　・交通費の補助（割引） |
| 駅に駐車場を確保する。 |
| 通勤方法の公共交通機関への切り替えを推進する。全額通勤手当対象とし、その上市営駐車場の５回/月程度の無料利用を可能にする。 |
| 遠方から自転車で通勤する職員に特別手当を支給する制度 |
| エコ通勤をすることに対する何かのメリットをもらう |
| 通勤時間に合わせたフレックスタイムの導入、帰宅用のオンデマンドバス・タクシー制度など |
| 鳥取郡部のバスを増やす。 |
| 負担費用の税金からの控除 |
| 公共交通機関の利用のしやすさ。特に運行時間。 |
| 徒歩・自転車での通勤が可能な距離の職場異動をお願いしたい。 |
| 商店街で買い物して買えるようにするなど、自分で努力する。 |
| 最寄り駅の駐車場を拡大。 |
| 庁舎を駅付近に移転し、公共交通機関を利用しやすくする。公共交通機関での通勤の際の補助が手厚いことをよりアピールする。 |

| |
|---|
| 都会などにみられる自転車専用道路の確保。 |
| バスダイヤの改善。時間外勤務の削減（させない。しなくてもよい体制づくり） |
| 過疎化等、大きな流れに抗おうとする取り組みであり、個人の生き方を変えなければ解決しない。福祉制度として取り組むべき問題。 |
| そういった制度や仕組みはないと思う。強いて言えば時間外勤務の縮減だと思う。 |
| 通勤距離が長い人には別の提案が良いのでは？エコ運転の進めとか。。。通勤経路中エコ運転努力区間を設ける等 |
| 公共輸送機関の充実 |
| バスのダイヤ・路線の設定を見直し、より使いやすいものになるようにする |

| 問４ エコ通勤やノルデ運動に関してご意見 |
| --- |
| バス通勤は天候によって到着時間が大幅に遅れることがある（バス利用が増えクルマが減れば良くなると思うが）ため、民間事業所では利用しにくいのではと思った。一方ノルデ運動参加者の多くが市の職員の動員によるも |
| 正規時間での帰宅には人員増が必要。 |
| ごみ減量の取り組みのように、職員全員で取り組む。 |
| 買い物が計画的にできた |
| 徒歩通勤に変えたことで、環境だけでなく健康についても考えるようになった。 |
| 高齢化社会においてバス・タクシーの利用が不可欠となります。 |
| バスで通学している子どもたちの笑顔に触れる事が出来た。 |
| 運動不足の解消、リフレッシュ |
| 本を読む時間が増えた |
| ダイエットできたという人がいました。 |
| 乗りたい通勤・帰宅時間帯のアンケートを実施し、試験運行してみてはどうでしょうか。 |
| バスに乗車してみて、公共交通は必要だと実感した。 |
| 一部の職員しか関心がなく、この運動が徹底されていないと思う。 |
| 車を所有していないので、特にない。 |
| 「ノルデに参加」というが、もとから車所持無く、徒歩・自転車通勤の者には参加資格がない。問 5 及び問 6 のアンケート選択肢は、不用な回答が入り、無意味ではないでしょうか。　※入力内容確認画面から、内容に不備 |
| 家かなり遠方なので、汽車通勤じゃないといけないのですが、自家用車での通勤じゃないあきらめがつきました。列車内では寝なかったら、勉強するようにしています。 |
| 職員の取り組みを推進したいのであれば、〇〇km 以内は車を使わないなどが義務化できないのでしょうか。 |
| 改めて乗車人数の少ないことを実感し、公共交通機関を守るためには、利用を促進する必要があると思った。 |
| もともと自転車通勤なので、特に変わらず |
| 自転車では３０分以上かかるので実施時期を日が長くさわやかな時期にしてほしい。 |
| アンケートがエコ通勤等に関心がない方でも、とりあえずチェックを入れさせるつくりになっているのが気になります。個人的には極力自転車通勤を心がけています。天気の良い日などに、爽やかさを感じつつ有酸素運動に |
| バス 100 円の日の創設、庁舎間移動に公共交通を使う等、ふだんから公共交通を使う環境を整えることが必要。また、市内（県東部）の公共交通を総合的に案内するサイトが必要と思う（ﾊﾞｽﾈｯﾄだけでは検索されな |
| 仕事が忙しいときでも残業時間のメリハリがつくのはよいと思った。今回は運動期間が寒い時期だったので、あまりできなかった。 |
| バイク等の低燃費の車両による通勤も対象としてはどうか。 |
| ・公共交通を守るという意識の醸成ができる |
| 本や新聞を読む時間が増えた。今後とも存続してほしい。 |
| 飲酒運転撲滅運動の取り組みの中、飲んだらノルデーは、言葉足らずで不謹慎である。 |
| マイカー通勤の人が多いのは、それを快適だと考える人が多い為だと考える。道路最優先の都市政策を転換しない限り、マイカー利用は減らない。 |
| 車の維持経費が節約できた |
| 通学バスに乗車したが違った環境、での通勤は新鮮な感じがした。 |
| 自転車通勤は健康のために続けたいと思いましたが、冬になったため中止しました。また再開します。 |
| 自転車を購入し、休日も自転車で運動するようになりました |
| 健康の為に取り組みたいが、職場までの距離があり無理。土日の買物等は徒歩を取り組みたい。 |
| 目的や意義は理解できるが、昔に戻ることは難しい。 |
| 運動する時間が増えた。 |
| エコばかり強調するが、自動車利用により生み出される経済的効果も考慮すべきでは |
| ノルデ運動には参加していませんが数日間自転車通勤して体力向上に役立ったように思います |
| 運転中には見ることの少ない町の様子、変化に気づく |
| 参加したいと思うが、出勤時によいダイヤのバスがない。また、変則勤務日もあるため乗り合わせも難しい。 |